

アンデス地域の経済連携動向から見た
日本の経済連携戦略に関する調査研究
報告書

平成21年3月

財団法人 国際経済交流財団

委託先 **MRI** 株式会社 三菱総合研究所



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。
<http://ringring.keirin.go.jp>



当該事業結果の要約

コロンビアを中心とするアンデス地域においては、米国との経済連携協定締結をはじめ、近年急激に経済連携協定交渉を推進しており、今後、これらの地域に進出する日系企業の健全な事業活動を維持するためにも、我が国との EPA 締結の影響・効果がいかなるものであるかを詳細に検討する必要がある。本調査は、アンデス共同体（CAN）加盟 4 カ国であるコロンビア、ペルー、エクアドル、ボリビアを対象に、経済連携政策の動向を取りまとめるとともに、これらの政策とこれら諸国の貿易・投資や実体経済動向との関連を調べることで、我が国が将来これらの諸国との EPA/FTA 交渉を進める上での有益な検討材料を提供することを目的として実施された。

アンデス地域では、地域経済統合の枠組みとしてアンデス共同体（CAN）がある。CAN 加盟国は現在、コロンビア、ペルー、エクアドル、ボリビアの 4 カ国である。CAN では、2006 年にはペルーの関税削減が達成されたため、アンデス自由貿易地域が完成した。これら 4 カ国のうち、CAN 以外の国・地域との間で積極的に FTA を推進しつつある国は、コロンビアとペルーの 2 カ国である。例えば、コロンビアは、CAN 諸国、メルコスールとの自由貿易圏創設、メキシコとの FTA、チリとの経済補完協定とそれを発展させた形の FTA、そしてコロンビア最大の貿易相手国である米国との FTA に取り組んでいる。その他にも G3 諸国（コロンビア、ベネズエラ、メキシコ）、カリブ共同体（CARICOM）14 カ国、中米 3 カ国（グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル）との経済補完協定を締結している。

コロンビアが米国と締結した FTA と日本が過去に締結した EPA を比較すると、明らかな違いとして指摘できるのは、米コロンビア FTA には環境と労働に関する個別の章が設けられていることである。これは、ブッシュ政権下の米国議会で多数を占めるようになった民主党が、EPA に含まれるべき要素としてこれらの項目を主張したことを受けたものである。また、米コロンビア FTA の投資章については、NAFTA 型を採用している。すなわち、第 3 モード（拠点を通じたサービスの提供）を投資章で扱うこととしており、その他のモードについては金融サービス章で扱うこととしている。日本の EPA でも、日墨 EPA については投資章について NAFTA 式を採用したため同様の構成となっているが、詳細な記述については所々相違が見られる。

アンデス 4 カ国は、経済連携に積極的なコロンビア、ペルーと、経済連携に積極的でないエクアドル、ボリビアの 2 つのグループに分けられる。アンデス 4 カ国の中ではコロンビア、ペルーの近年における輸出額の伸びが顕著である。とはいえ、アンデス 4 カ国のいずれの国も近年輸出入双方ともに貿易額が増加しており、これらの国にとっての貿易の重要性が増していることがわかる。このなかでもコロンビア、ペルーは貿易額の増加が顕著であり、そのことが、これら 2 カ国が他の 2 カ国に比べて先行して FTA に取り組むことになった背景にあると考えられる。

日本がコロンビア等のアンデス諸国との EPA 締結を考える場合、日本が既に締結した EPA との相乗効果を考慮することが必要である。コロンビアの主要貿易相手国先は、米国

を中心とする NAFTA 圏が最大であり、それに EU、CAN が続く。また、コロンビアは米国との間で FTA を締結済みであり、近い将来の発効が期待される。米国は、日本にとっても最大の貿易相手国の一つであり、日本企業にとっての最大の市場の一つである。現在、米国市場向けの商品は、米国で現地生産するか、近隣のメキシコで生産して輸出するケースが多い。コロンビアはメキシコを含む G3 の経済補完協定を有し、FTA にも取り組んでいる。そして、米国との FTA も発効すれば、これら米・メキシコ・コロンビアの貿易障壁はさらに低くなる。このような状況で、日本がコロンビアと EPA を締結すれば、日本企業にとっても、コロンビアとメキシコの水平分業により対米輸出を効率化できる可能性があるかもしれない。

アンデス地域で活動する日系企業の見解を見ると、コロンビア、ペルーと日本との間に EPA が締結されることにメリットを感じる企業が多い。特に、関税撤廃への期待が高い。また、コロンビアの政府・産業界も、日本との経済関係強化のために EPA の締結を強く望んでいる。

目次

第1章	調査研究の背景等	1
1.1	調査研究の背景と目的	1
1.2	調査研究項目	1
1.3	調査研究手法	2
第2章	アンデス地域における経済連携の政策、取組状況、協定内容	3
2.1	アンデス地域（主にコロンビア）における経済連携の政策、取組状況	3
2.1.1	アンデス共同体における経済連携の取組み	3
2.1.2	コロンビアによる経済連携の取組み	5
2.1.3	ペルーによる経済連携の取組み	7
2.1.4	エクアドルによる経済連携の取組み	8
2.1.5	ボリビアによる経済連携の取組み	9
2.2	アンデス地域（主にコロンビア）における経済連携の協定内容に関する調査	11
2.2.1	米コロンビア FTA と我が国 EPA の構成要素の全般比較	11
2.2.2	米コロンビア FTA と我が国 EPA の投資章の比較	13
第3章	経済連携政策の違いによる影響・効果の分析	33
3.1	アンデス4カ国の貿易動向と経済連携政策	34
3.1.1	アンデス4カ国の比較	34
3.1.2	コロンビアの貿易動向と経済連携	36
3.1.3	ペルーの貿易動向と経済連携	39
3.1.4	エクアドルの貿易動向と経済連携	41
3.1.5	ボリビアの貿易動向と経済連携	43
3.2	アンデス4カ国の投資動向と経済連携政策	45
3.2.1	コロンビアの投資動向と経済連携	45
3.2.2	ペルーの投資動向と経済連携	47
3.2.3	エクアドル、ボリビアの投資動向と経済連携	48
第4章	我が国がこれまで締結した経済連携協定がもたらす貿易・投資変化の動向、日系企業の活動状況の変化等からの評価	49
4.1	日本・コロンビア—第三国間の貿易・投資関係と EPA の効果予測	50
4.2	日本・コロンビア EPA で期待される関税削減効果	50
4.3	日系企業の活動状況と EPA への期待	53
4.4	日本との EPA に対するコロンビア政府・産業界の期待	53

第1章 調査研究の背景等

1.1 調査研究の背景と目的

世界各地で経済連携協定が締結されるなか、我が国も2010年までに経済連携協定(EPA)締結相手国との貿易額が全貿易額の25%以上になることを中期的な目標としている(2007年6月改訂 経済成長戦略大綱)。我が国はEPAを積極的に推進する立場にあるが、単純に協定の締結数で比較した場合には、我が国をはるかに上回る締結数を持つ国・地域が多数ある。また、コロンビアを中心とするアンデス地域においては、米国との経済連携協定締結をはじめ、近年急激に経済連携協定交渉を推進しており、今後、これらの地域に進出する日系企業の健全な事業活動を維持するためにも、我が国とのEPA締結の影響・効果がいかなるものであるかを詳細に検討する必要がある。

中南米では、既にメキシコ、チリと経済連携協定を締結しているが、両国に次ぐ市場規模としてコロンビアを中心とするアンデス地域への日系企業の関心が高まりつつある。また、同地域は豊富な天然資源のポテンシャルから、大型投資案件も増加傾向にあり、貿易投資環境の整備が急務となっている。

また、日本との投資・経済連携協定に関して積極的であるコロンビアを中心とするアンデス地域諸国との経済連携戦略や現地企業や日系企業の意識を調査するとともに、締結されている経済連携がもたらす影響・効果について分析を行い、経済連携のあり方に対する示唆を得るニーズも存在している。

このような背景の下、本調査は、アンデス共同体(CAN)加盟4カ国であるコロンビア、ペルー、エクアドル、ボリビアを対象に、経済連携政策の動向を取りまとめるとともに、これらの政策とこれら諸国の貿易・投資や実体経済動向との関連を調べることで、我が国が将来これらの諸国とのEPA/FTA交渉を進める上での有益な検討材料を提供することを目的として実施された。

1.2 調査研究項目

本調査では、以下に挙げる項目について調査を行った。

- ① アンデス地域(主にコロンビア)における経済連携の政策、取組状況、協定内容に関する調査
 - アンデス地域(主にコロンビア)における経済連携の政策、取組状況
 - アンデス地域(主にコロンビア)における経済連携の協定内容に関する調査
- ② 経済連携政策の違いによる影響・効果の分析
 - アンデス諸国を「経済連携を積極的に推進する国」と「そうでない国」に大別し、経済連携があることによる影響・効果、経済連携がないことによる影響効果を貿易・投資の変化や経済動向の実データ、現地企業及び日系企業の見解等をベース

に分析した。

- ③ 我が国がこれまで締結した経済連携協定がもたらす貿易、投資変化の動向、日系企業の活動状況の変化等からの評価
- ・ 日本の既存の EPA/FTA によって生じる貿易・投資や日系企業の活動の変化やこれら協定との相乗効果の観点から、日本とアンデス諸国との FTA/EPA の可能性について検討した。

1.3 調査研究手法

本調査は、文献調査、現地（コロンビア）におけるアンケート・インタビュー調査により実施した。

コロンビアにおけるアンケート・インタビューでは、同国の関係機関に対してアンケートを送付するとともに必要に応じて現地コンサルタントによる訪問調査を行った。アンケート・インタビューにより回答が得られた機関は以下の通りである。

- コロンビア商工観光省（Ministry of Commerce, Industry and Tourism）
- コロンビア貿易投資促進庁（Proexport）
- コロンビア全国工業連盟（ANDI: Asociación Nacional de Empresarios de Colombia）
- コロンビア・コーヒー生産者連盟（FNC: Federación Nacional de Cafeteros de Colombia）
- コロンビア競争力民間会議（COMPITE: Consejo Privado de Competitividad Colombia）
- コロンビア高等教育・開発基金（FEDESARROLLO: Fundación para la Educación Superior y el Desarrollo）

第2章 アンデス地域における経済連携の政策、取組状況、協定内容

2.1 アンデス地域（主にコロンビア）における経済連携の政策、取組状況

アンデス地域では、地域経済統合の枠組みとしてアンデス共同体（Comunidad Andina de Naciones: CAN）がある。CANは、その前身であるアンデス地域統合（Andean Common Market: ANCOM）が1969年に設立されたのち、1996年にANCOMが発展的に改組する形で発足した。CANは、成立後しばらくの間は、閉鎖的な市場、高い関税率、そして国内産業の保護などの保守的な貿易政策を特徴としていた。しかし、1980年代からそれまでの閉鎖的な政策に行き詰まりが見られ、自由貿易政策に転換せざるを得なくなった。

CAN加盟国は現在、コロンビア、ペルー、エクアドル、ボリビアの4カ国である。本調査では、CAN全体としての経済連携の取組状況に加え、これら4カ国の各国の経済連携の取組み状況をまとめることとする。これら4カ国のうち、CAN以外の国・地域との間で積極的にFTAを推進しつつある国は、コロンビアとペルーの2カ国である。具体的には、ペルーは、チリ、タイ、米国との間で既にFTAを締結済みであり、EFTA及びシンガポールとの交渉を行っている。また、コロンビアは、チリ、米国との間で既にFTAを締結済みであり、EFTA及び中米3カ国（エルサルバドル・グアテマラ・ホンデュラス）との間で交渉を行っている。これら両国と米国とのFTAのうち、ペルーと米国とのFTAについては、2007年12月に米国議会が批准をし、ペルー国内法が十分に整備されたのを機に、2009年2月1日発効した。他方、コロンビアと米国とのFTAについては、米国議会が批准しないままの状況である。

本調査では、このような状況を含め、CAN全体及び加盟4カ国の各国がFTAについて如何なる政策を掲げ、どのように取り組んでいるかをまとめた。

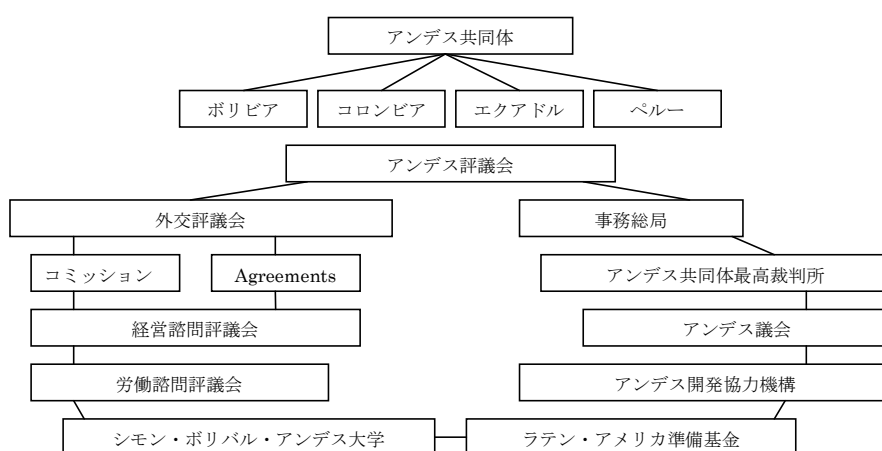
2.1.1 アンデス共同体における経済連携の取組み¹

アンデス共同体（CAN、設立当初はアンデス地域統合（ANCOM））は、1969年にアンデス地域国の経済的、社会的統合を目指す目的のもと、カルタヘナ協定に署名したボリビア、チリ、コロンビア、エクアドルとペルー間で創設された。しかしながら協定が発効してからの約10年間は、高い対外関税率の維持、国内工業を国の保護下に置きながら工業化を促す輸入代替工業化が優先された。また、外国直接投資の受け入れにおいても、自国産業保護が確保される範囲内での必要性は認識されていたが、実質的には直接投資に対して厳格な規制がなされていた。この結果、非効率な経済構造のもとで、1980年代に入ると対外債務危機が顕在化し、これらの国々の経済政策は立ち行かなくなった。また、それと同時に経済統合への動きも鈍化していたため、各国の政策方針を見直すために開催した1989年のガラパゴス会議においては、共同体設立以降の自国工業保護中心の政策を転換させる

¹ CAN ウェブサイト

ことを定めた。これを機に、CAN の政策上はこれまでの保護主義から一転、自由主義へと大きく変換し、1991 年からは 4 段階にわたる対外共通関税制定の交渉が開始されることとなった。1993 年にはペルーを除くボリビア、コロンビア、エクアドル、ベネズエラ間で物品貿易の関税を撤廃した自由貿易圏を形成することで一致し、サービス貿易の自由化も図られ、1995 年には対外共通政策（Common Foreign Policy）を策定していくことが定められた。更に 1997 年のトルヒーヨ決議においては、カルタヘナ協定を改定する形で新たに CAN が創設され、従来から自由化の対象となる物品やサービス貿易だけでなく、共同体内における経済協力や環境保護、対外共通政策の策定に取り組んできた。

図表 2-1 アンデス共同体の組織



出所：CAN ホームページ（www.comunidadandina.org/endex.htm）

加盟国の変遷については、1969 年の ANCOM 発足当初の原加盟国がボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、ペルーであったが、1976 年にはチリのピノチェト大統領が ANCOM の経済政策に異議を唱え ANCOM を脱退し、2006 年 9 月には再び CAN の準加盟国に復帰するに至った。また、ベネズエラは 1973 年に ANCOM に加盟したが、2006 年にはチャベス大統領がコロンビアとペルーが対米 FTA を批准したことに異議を唱え、CAN を脱退した。現在では、ボリビア、ペルー、コロンビア、エクアドルが CAN の正規加盟国だが、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイのメルコスール（MERCOSUR：南部共同市場）諸国、そしてチリが準加盟国になっている。また、メキシコとパナマは CAN のオブザーバー国である。

最近の CAN の対内政策では、2002 年に域内の 62% の貿易品目について対外共通関税を設定することを承認し（決議 535）、翌 2003 年にアンデス共同体は関税同盟として機能していくことを WTO に通告したが、2004 年にはこの決議 535 で採択された対外共通関税発効を 2005 年の 5 月まで延期することを決めた。しかしながら、2006 年にはペルーの関税削減が達成されたため、アンデス自由貿易地域が完成した。また、2008 年に策定された「ワーキング・プログラム 2008」では、貿易や関税といった経済政策だけでなく、域内の移民・

労働、自然災害、食糧安全保障、中小企業、知的財産といった社会分野への包括的な協力関係を築いていこうという姿が伺える。

昨今のCANの対外政策に関しては、まずEUとの関係であるが、2003年12月に「CAN-EU 政治対話・協力協定 (Political Dialogue and Cooperation Agreement)」に署名、ボリビアとエクアドルが協定を批准し、コロンビアとペルーも批准に前向きな姿勢を示している。EUは1991年からCAN加盟国に対し、違法薬物の普及に歯止めをかけるための、つまり違法薬物に依存しない経済構造を築くための特別特惠関税制度を設けている。これによって、CAN諸国はEUに対して農水産物の関税をほぼ全て撤廃した形で輸出することができるようになった。また、その後WTOとの整合性を保つために、2001年のEU決議2501/2001において新たな一般特惠関税制度が採択された。

対米関係においては、2004年の時点でCAN域内の41%の輸出品が米国向けであり、CANは米国との政治経済関係を重視していることが伺える。米国議会は1991年にアンデス諸国関税優遇法 (Andean Trade Preferences Act: ATPA) を批准し、EUと同じようにCAN諸国の薬物規制の自助努力をサポートするために特惠関税を設けた。この関税優遇法が2001年で失効するのを前に、米国は新たにCAN諸国の要請に基づき、アンデス貿易振興麻薬撲滅法 (Andean Trade Promotion and Drug Eradication Act: ATPDEA) を制定した。ATPDEAは2006年12月31日をもって失効することとなっていたが、その後3回の延長が行われ、議会決定では2008年12月31日が失効期限となっていた。今後は、2009年1月に発足したオバマ新政権でのATPDEAの扱いが注目される。

対メルコスールの関係においては、1998年にブエノスアイレスでの決議でCAN-メルコスール間に自由貿易地域創設の構想が生まれた。この自由貿易地域の実現には二段階が必要であるとされ、第1段階においては2ブロック間に固定特惠関税を設け、その後第2段階においてFTAを締結するというものであった。2001年には2ブロック間に自由貿易地域創設の協定が締結され、2002年にはCAN側からコロンビア、エクアドル、そしてベネズエラと、メルコスールとの間に経済補完協定が結ばれた。この経済補完協定によって、現在はCAN諸国がメルコスールの準加盟国となり、メルコスール諸国はCANの準加盟国となるという、相互依存関係ができつつある。

2.1.2 コロンビアによる経済連携の取組み

コロンビアの通商政策で顕著な点としては、ラテンアメリカ諸国との関係を強化していることが挙げられる。CAN諸国、メルコスールとの自由貿易圏創設、メキシコとのFTA、チリとの経済補完協定とそれを発展させた形のFTA、そしてコロンビア最大の貿易相手国である米国とのFTAである。その他にもG3諸国 (コロンビア、ベネズエラ、メキシコ)、カリブ共同体 (CARICOM) 14カ国、中米3カ国 (グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル) との経済補完協定を締結している²。

² JETRO「国・地域別情報 コロンビア」

コロンビア、メキシコ、ベネズエラの3ヶ国が構成するG3によるFTAは1995年1月に発効され、段階的な関税撤廃を目指してきた。2004年以後は懸案事項であったセンシティブ品目（農産物と自動車）を、2010年を目処に関税撤廃を目指すこととしている。2006年を機にベネズエラはG3から脱退した。しかしながら、コロンビアはG3のFTA発効によって輸出額が増加したことを踏まえ、今後はメキシコとの二国間経済連携を強化していくことを表明している。

チリとの間には1993年の時点で既に経済補完協定が発効していたが、2006年にはこの補完協定を発展させる形でFTA交渉を進めていくこととした。現在、二国間貿易では96%の品目が無関税で輸出入できるようになっており、残りの4%（精肉、消費財、果物・野菜、小麦粉、砂糖、石油）は2012年までの関税撤廃を目指している。

またカリブ共同体（CARICOM）とキューバもそれぞれ1994年、2000年に部分関税協定（Partial Scope Agreement）を締結しており、域内で相互に特惠関税を認めると共に、近年では条約内容の改定を通して貿易制度の改善や技術基準、紛争処理手続きの改善を図っている。

最近の動向として、コロンビアのマクロ経済は2006年の時点で4.5%程度の成長率、低いインフレ率、対外債務の抑制といった好ましい経済環境にある。また多角的な経済政策により、コロンビアはGDP成長率を2017年までの間に、年率4-5%を維持することを掲げている。この成長率を達成するためには、中長期的な展望において国内・外国双方の投資を活発化させる必要がある。このような背景からも、コロンビアは多くのFTA締結を望んでいることが伺える。

現在においては、ラテンアメリカ諸国のFTA締結にとどまるのみならず、EUやEFTA、APECとも政治的対話を通して協力関係を構築しようと試みており、カナダとのFTAも発効待ちの段階である。

また、ATPDEAが2006年12月の段階で失効するのを踏まえ、コロンビアは2004年から米国とのFTA交渉を開始していた。この対米FTAは2006年に署名されたが、いったんFTAが発効されれば、80%以上の米国産消費財や工業製品の関税が撤廃され、その他の米国主要輸出品（木材、農薬、農耕機、航空機部品、情報技術製品）が一律関税撤廃になる。しかしながら、このFTAは現在米国議会批准待ちであり、その審議の先行き不透明さが指摘されている³。

なお、本調査では、コロンビアについて、現地政府機関、産業界等に対して、同国におけるFTA政策の重要性や位置づけについてアンケート・インタビュー調査を行った。その結果、コロンビアでは、政府、産業界ともに通商政策の一つとしてFTAを非常に重視していることが分かった。また、一般国民の間でもFTAは広く支持されていることが確認された。さらに、FTAを締結する目的としては、もっぱら締結相手国との貿易・投資促進が重視され、政治的効果や文化交流促進等その他の効果に対する重視度は必ずしも高くないことが分かった。

³ WTO Trade Policy Review Colombia 2006

2.1.3 ペルーによる経済連携の取組み

ペルーは FTA をはじめとする経済連携協定に対し積極的な姿勢を持つ国である。現在のところ、多国間では ALADI、CAN、そして APEC に加盟、また二国間ではメキシコ、チリとの経済補完協定が発効し、タイとも一部品目アーリーハーベスト（先行自由化）を実施した。そして 2007 年 12 月には対米国との FTA が米議会を通過し、発効段階までペルーが国内法整備を含め調整を進めるという合意に至った。現在交渉進行中の FTA は対シンガポール、EFTA、そしてメキシコであり、EU とも経済連携という形での協定交渉を CAN の加盟国として参加している⁴。

ペルー経済は 2002 年から 2006 年までの間に平均 4.6%の成長を達成し、この時期の貿易総額は 172%増加した。国際経済においては、ペルー国内のマクロ経済政策のパフォーマンスは良好であるとされ、対ペルーの外国直接投資額は増大傾向にある。また、ペルーは関税削減や国内改革によって公私セクターともにインフラに対する投資額を増大させ、国際経済における競争力強化に努めている。こういった情勢を受け、ペルーは 2002 年に通商政策を担う貿易観光省（Ministry of Foreign Trade and Tourism: MINCETUR）を設立し、中長期的な貿易政策策定の主導力を発揮している⁵。

ペルーは CAN 設立当初からの原加盟国であったが、共通市場政策の方針の違いにより 1997 年に CAN に対して脱退を宣言した。しかしながら 2004 年に CAN の新共通市場の関税削減率に同意し、CAN の加盟国に復帰した。なお、この新関税削減率に対してはなおもベネズエラとコロンビアが反対しており、幾度の発効停止宣言が出された上、現在も発効停止状態である⁶。

ペルーとメルコスールの間には、2006 年に ALADI の枠組内で経済補完協定 58 が発効し、物品貿易に限定された段階的関税削減に同意した。また、アルゼンチンとブラジルはペルーに対して 8 年以内に関税撤廃を目指すことを要求しているが、ペルーはこれら二国に対して 15 年以内に関税撤廃の期限を要求している。一方で、ウルグアイとパラグアイとは 13 年以内に関税撤廃を目指すことに同意している⁷。

ペルーと米国との間の FTA である貿易促進協定（Trade Promotion Agreement: TPA）は 2006 年 6 月にペルーが批准、2007 年 12 月に米国議会も批准し、2009 年 2 月 1 日に発効した。TPA 交渉開始から発効までの間は非常に多くの時間を費やしたが、その理由はペルーの国内法の整備、特に労働や環境、知的所有権関連の国内法の整備の必要性があったからである⁸。ペルーのもともとの政治的なアドバンテージを認識していた米国議会は、ペルーの国内法整備が遂行されたのを好意的に判断し、一部の TPA に対する懐疑的な議員の存在にもかかわらず、TPA 発効に到達した。

⁴ JETRO ペルーWTO・他協定加盟状況；JETRO「概況（アンデス共同体、ペルー・メルコスール FTA 締結、その他）」

⁵ WTO Trade Policy Review Peru 2007

⁶ Bilaterals.org

⁷ WTO Trade Policy Review Peru 2007

⁸ 国際金融情報センター『米議会、対ペルーFTAを批准』

また、1998年にペルーとチリの間にもALADIの枠組み内において経済補完協定38が発効しているが、2012年を目標に自由化を目指した協定の拡大交渉が2005年に開始され、約1年を費やして2006年8月に合意に達した。現在のところ、チリ議会の批准待ちの状態である。他のCAN諸国と同じく、ペルーもEUからの一般特惠関税（Generalized System of Preferences: GSP）制度を維持している。2007年6月にはEUとのEPA交渉開始で合意に至り、現在協議中である⁹。

ペルーはCAN加盟国のうち唯一のAPEC加盟国であり、2003年にはタイとアーリーハーベスト（先行自由化プログラム、Early Harvest Program: EHP）制度に合意した。現在はまだ未発効の状態であるが、このEHPが発効することによって、両国の70%以上の物品貿易に関して関税が撤廃されることになる。現在、タイにおいてサービス・投資分野の国内法整備が進んでいるが、両国ともこれに関してさらなる交渉を進めていく構えである。ペルーが現在交渉を進めているFTAは、シンガポール、EFTA、カナダ、そして中国である¹⁰。

2.1.4 エクアドルによる経済連携の取組み

エクアドルは2000年に通貨をドルに変更後、健全な公共財政政策に努めることによって、南米諸国の中においては比較的高いGDP成長率や低インフレ率を保つことに成功している。また、ドル安ユーロ高の傾向によってエクアドルの主要輸出品である原油輸出が伸びていたため、国際原油市場での競争力が増していたこともマクロ経済の好転に寄与していたとも考えられる。こういった国際経済状況のもとで、次第にエクアドルを新たな外国投資先として見る声も高まっており、エクアドル経済を国際経済の中に再統合する動きが活発化した。エクアドルの貿易自由化政策は、地域的統合と世界経済に対する統合という二つの側面を持っており、CAN、メルコスールや米州自由貿易地域（Free Trade Area of the Americas: FTAA）といった地域統合に重点を置くことが顕著であった¹¹。

エクアドル政府は、1997年の時点で既に通商投資法（Ley de Comercio Exterior y Inversiones: LEXI）を制定しており、この法によって通商投資委員会（Consejo de Comercio Exterior y Inversiones）が設置された。通商委員会はエクアドルの貿易政策決定を行う最高機関として機能している¹²。

エクアドルの貿易政策は二国間、多国間、そして地域統合と特徴を分けることができるが、CANに加盟してからは地域統合重視の傾向が見られる。しかしながら、1980年代以降は貿易協定の締結は二国間協定重視にシフトしている。また、エクアドルの最大貿易相手国は80年代から依然として米国であり、次にEU、そしてCANという順になっている。

エクアドルも、1995年にチリとの間に経済補完協定が発効しているが、230品目（ほと

⁹ WTO Trade Policy Review Peru 2007

¹⁰ COMEXPERU

¹¹ WTO Trade Policy Review Ecuador 2005

¹² Ministerio de Relaciones Exteriores, Ecuador

んどが農産物)を例外として相互に無関税を達成している。また、メキシコとは部分的関税協定(Partial Scope Agreement)を締結しており、190品目のメキシコ産輸出品に対して特惠関税を100%まで認めている。またキューバとの経済補完協定においては、170品目のキューバ産輸出品に対して無関税を認めている。

エクアドルはCANの加盟国であることを通じて、EUからの開発途上国に対する一般特惠関税が認められている。またこの特惠関税協定が2005年に失効するのの際し、引き続きEUとの政治的協力対話を継続し、自由貿易地域創設に向けて協力関係を築いていくこととしている。同様に米国とは、ATPDEAの下で米国に対する無関税輸出を享受してきた。これらの関税協定を締結する背景には、開発途上国産の輸出品の貿易を促すことだけでなく、違法薬物取引の撲滅を目指すといった政治的な意図も含まれている。その他、エクアドルと一般特惠関税協定を締結している国は、オーストラリア、ブルガリア、カナダ、日本、ニュージーランド、ロシア、スイスである。

しかしながら近年のエクアドルにおいては、現職のラファエル・コレア大統領(2007年～)が米国とのFTA締結に後ろ向きの姿勢を示している。コレア大統領は就任当時から米国とのFTAに反対していたが、その理由としてすでにエクアドルの総輸出額の約40%が対米国であること、また様々な国際社会との貿易の多様性を目指す必要性があるためと訴えている。コレア大統領は米国との貿易協定の可能性を完全に捨ててはいるわけではないが、FTA締結に取り組む考えはないという立場を示している。また、EUとの関係においても同様に、FTAではなく政治的・協力的対話に重点を置いた協定を締結する構えであり、エクアドルは対欧米関係よりも地域ブロックとしてのCANとより一層の協力関係を築きたいとしている¹³。

2.1.5 ボリビアによる経済連携の取り組み

ボリビアは1980年に創設されたラテンアメリカ統合連合(Asociación Latinoamericana de Integración: ALADI)の加盟国であり、域内特惠関税の実現などを通して域内経済統合を目指していた。しかし1990年代に入ってからCANの域内自由貿易圏創設をはじめとして、より個別的な関税協定を締結する動きが活発化してきた。個別の経済補完協定としては、1993年に対チリ、1995年に対メキシコ(ただしこれは自由貿易協定)、2001年にはキューバと締結している。また、個別の特惠関税協定は1976年に米国、2005年にEU、1974年にカナダ、そして1971年に日本と締結しており、先進国が開発途上国に対して関税を低くすることによる優遇策を受けている。その他にも、ブルガリア、ニュージーランド、ノルウェー、ロシア、トルコやスイスもボリビアと特惠関税協定を締結している。

ボリビアも1980年代の保護主義的な貿易政策の失敗により、1990年代からは大幅な自由化政策に転換し、外国投資を惹きつけるために様々な規制緩和や国営企業の民営化を行ってきた。しかしながら、半ば無差別的な自由化によってとりわけ非伝統的な国内の食糧

¹³ “Union Radio” 2007年8月28日付・”RPP.com.pe”2009年1月19日付

生産業や製造業は打撃を受け、国内の輸出業の脆弱さを浮き彫りにした。これらの原因としては、基礎的なインフラや私企業の法的保護、安定的な財政政策の欠如によるものだったと考えられている。CANの自由貿易圏が発効したことによって、ボリビアの対CAN域内輸出は大幅に増加した。2006年次における域内輸出はおよそ4億3,400万ドルであり、これは2000年における域内輸出のほぼ2倍に相当する。しかしながら、ボリビアは輸出の多くを石油や天然ガス、または鉱物資源に依存しているため、近年ではブラジルに対する輸出がボリビア全体の輸出額のほぼ半額を占めるようになり、CAN域内に対する輸出額は年々減少傾向にある¹⁴。

ボリビアの対メルコスール自由貿易地域は2000年から公式に開始されたが当初の貿易収支は赤字であった。これはボリビアとメルコスール諸国の産業構造が似通っていた上、ボリビアからの輸出においてより多くのコストがかかっていたことと、関税・非関税障壁による流通の阻害があったことが原因である。2004年からは対メルコスールの貿易収支は黒字に転じたが、これはブラジルやアルゼンチンに対する天然ガス輸出が増加したためだと考えられる¹⁵。

チリとの経済補完協定は1993年に発効したが、これによって200以上のボリビア産輸出品の関税が撤廃され、同じように115のチリ産品が無関税でボリビアに輸出できるようになった。更に、チリはその後のボリビアに対する改定経済補完協定で、砂糖や小麦などのセンシティブ品目を除き、ほぼ100%自由化を達成した。しかしながら、ボリビアの対チリ貿易収支は2000年から2006年までの間は依然として赤字のままであり、この間のチリに対する輸出額は年平均で3800万ドルに届く程度である¹⁶。

また、1994年にはメキシコとの間で自由貿易協定に署名し、翌1995年に発効した。この自由貿易協定はNAFTA（北米自由貿易協定）と似た特徴を持っており、物品貿易の関税引下げのみならず、サービス貿易や投資、知的財産、紛争処理、政府調達や原産地規則についても定められている。しかしながら、メキシコ側から多くのセンシティブ品目による関税率引下げ制限を加えられたため、ボリビアの農産物や養鶏産品における自由化は達成されていない¹⁷。

このように従来ボリビアは対外貿易自由化に積極的であったが、2006年1月に発足したモラレス政権の下で路線変更の傾向が見られる。例えば、FTAAへの消極的対応、ベネズエラやキューバへの接近といった点である。とりわけ、対米関係については、米国にとってボリビアの麻薬対策が基軸となり、これに対してATPDEAの下でボリビアが経済的利益を享受する構造となっていたが、モラレス政権下のコカ葉栽培の合法化問題もあり、ATPDEAによる関税優遇措置の扱いを巡り、両国間で微妙な状況が続いている。2008年9月には、ボリビアは駐ボリビア米国大使に対しペルソナ・ノン・グラータを宣言し、米国はこれに伴いボリビアに対するATPDEAの適用を停止している。

¹⁴ Ministerio de Producción y Microempresa, Bolivia

¹⁵ Instituto Boliviano de Comercio Exterior “Bolivia y su Participación en los Procesos de Integración”

¹⁶ Ibid.

¹⁷ Ibid.

2.2 アンデス地域（主にコロンビア）における経済連携の協定内容に関する調査

CAN 及び加盟 4 カ国の FTA のうち既に発効している FTA は、GATT 授權条項に基づくものであり、かつ、関税に特化したものであるため、我が国が将来締結する EPA との関係を考えるという観点から、その内容を詳細に検討する意義はあまり無い。この点、我が国の今後の経済連携戦略に寄与するという観点からは、米国がコロンビア及びペルーと締結した FTA について、その内容が、我が国が諸外国と締結した FTA と比較して如何なる類似性・相違性を有するのかを検討することが有意義である。したがって、本調査では、これら 2 カ国のうち、特に本調査の主要関心国であるコロンビアと米国との FTA を対象にして、協定内容の調査・分析を行った。

2.2.1 米コロンビア FTA と我が国 EPA の構成要素の全般比較

図表 2-2 は米コロンビア FTA と、日本の EPA（ここでは、中南米の事例として日墨 EPA と比較的近年発効した EPA の事例として日比 EPA を取り上げた）の構成要素＝章構成を比較表にしたものである。このように両者を比べると、基本的な項目立てこそ違うものの、概ね同様の項目を網羅していることが分かる。

ただし、明らかな違いとして指摘できるのは米コロンビア FTA には、環境と労働に関する個別の章が設けられていることである。これは、ブッシュ政権下の米国議会で多数を占めるようになった民主党議会在、EPA に含まれるべき要素としてこれらの項目を主張したことを受けたものである。従来、EPA が、貿易パートナー国における環境問題や労働問題に十分な配慮をしてこなかったという反省にたつものである。

また、米コロンビア FTA の投資章については、NAFTA 型を採用している。すなわち、第 3 モード（拠点を通じたサービスの提供）を投資章で扱うこととしており、その他のモードについては金融サービス章で扱うこととしている。日本の EPA でも、日墨 EPA については投資章について NAFTA 式を採用したため、同様の構成となっている。

図表 2-2 米コロンビア FTA と日墨 EPA、日比 EPA の目次比較

米コロンビアFTA	日メキシコEPA	日フィリピンEPA
第1章 総則	第1章 目的	第1章 総則
第2章 内国民待遇と物品のマーケットアクセス	第2章 一般的定義	第2章 物品の貿易
第3章 繊維・衣料	第3章 物品の貿易	第3章 原産地規則
第4章 原産地証明・規則	第4章 原産地規則	第4章 税関手続
第5章 税関行政及び貿易円滑化	第5章 原産地証明書及び税関手	第5章 ペーパーレス貿易
第6章 衛生及び植物衛生	第6章 二国間セーフガード措置	第6章 相互承認
第7章 貿易への技術的障害	第7章 投資	第7章 サービスの貿易
第8章 貿易救済措置	第8章 国境を越えるサービスの質	第8章 投資
第9章 政府調達	第9章 金融サービス	第9章 自然人の移動
第10章 投資	第10章 商用目的での国民の入国及び一時的な滞在	第10章 知的財産
第11章 国境を越えたサービス貿易	第11章 政府調達	第11章 政府調達
第12章 金融サービス	第12章 競争	第12章 競争
第13章 競争政策	第13章 ビジネス環境の整備	第13章 ビジネス環境の整備
第14章 電気通信	第14章 二国間協力	第14章 協力
第15章 電子商取引	第15章 紛争解決	第15章 紛争の回避及び解決
第16章 知的財産権	第16章 協定の実施及び運用	第16章 最終規定
第17章 労働	第17章 例外規定	
第18章 環境	第18章 最終規定	
第19章 透明性		
第20章 協定管理と貿易能力構築		
第21章 紛争解決		
第22章 例外規定		
第23章 最終規定		

出所：三菱総合研究所作成

2.2.2 米コロンビア FTA と我が国 EPA の投資章の比較

ここでは、日本が過去に締結した EPA の投資章の中でも、NAFTA 型を採用し米コロンビア FTA の投資章に構成が近いと思われる日墨 EPA の投資章を米コロンビア FTA の投資章と比較することとした。

図表 2-3 は、米コロンビア FTA と日墨 EPA の投資章の構成を比較したものである。これを見て分かることは、名称に少しずつ違いが見られるとは言え、両者の条構成は極めて似通っていることである。これは、日墨 EPA が NAFTA 型を採用したことによると思われる。なお、日本がアジア諸国等と締結した EPA の投資章と日墨 EPA の投資章には違いが見られることには留意しておく必要がある。

米コロンビア FTA の投資章に含まれている条項については、基本的に全て日墨 EPA の投資章に含まれている。一方で、日墨 EPA の投資章に含まれている条項で米コロンビア FTA の投資章には見られないものがある。図表 2-3 で色付けした条項が日墨 EPA にのみ見られるものである。

次ページ以降では、米コロンビア FTA と日墨 EPA の投資章のテキストを個別・具体的に比較した。

図表 2-3 米コロンビア FTA と日墨 EPA、日比 EPA の目次比較

米コロンビア FTA の投資章	日墨 EPA の投資章
セクション A 投資	第1節
10.1条 適用範囲	第57条 適用範囲
10.2条 他の章との関係	第58条 内国民待遇
10.3条 内国民待遇	第59条 最恵国待遇
10.4条 最恵国待遇	第60条 一般的待遇
10.5条 一般的待遇	第61条 収容及び補償
10.6条 争乱の場合の措置	第62条 争乱からの保護
10.7条 収容と補償	第63条 資金の移転
10.8条 移転	第64条 経営幹部及び取締役会
10.9条 パフォーマンス要求	第65条 特定措置の履行要求
10.10条 経営幹部及び取締役会	第66条 留保及び例外
10.11条 投資及び環境	第67条 通報
10.12条 利益の否認	第68条 特別な手続き及び情報の要
10.13条 整合的でない措置	第69条 他の章の規定との関係
10.14条 特別な手続き及び情報の要	第70条 利益の否認
セクション B 一方の締約国と他方の締約国の投資家との間の投資紛争の解決	第71条 投資支援
第10.15条 ~ 10.27条	第72条 一時的なセーフガード措置
セクション C 定義	第73条 知的財産及び知的財産権
第10.28条	第74条 環境に関する措置
	第2節 一方の締約国と他方の締約国の投資家との間の投資紛争の解決
	第75条 ~ 第95条
	第3節 定義
	第96条 定義

出所：三菱総合研究所作成

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
適用範囲	<p>Article 10.1: Scope and Coverage¹</p> <p>1. This Chapter applies to measures adopted or maintained by a Party relating to:</p> <p>(a) investors of another Party;</p> <p>(b) covered investments; and</p> <p>(c) with respect to Articles 10.9 and 10.11, all investments in the territory of the Party.</p> <p>2. A Party's obligations under this Section shall apply to a state enterprise or other person when it exercises any regulatory, administrative, or other governmental authority delegated to it by that Party, such as the authority to expropriate, grant licenses, approve commercial transactions, or impose quotas, fees, or other charges.</p> <p>3. For greater certainty, this Chapter does not bind any Party in relation to any act or fact that took place or any situation that ceased to exist before the date of entry into force of this Agreement.</p> <p>Footnote:</p> <p>¹ For greater certainty, nothing in this Chapter shall be construed to impose an obligation on a Party to privatize any investment that it owns or controls or to prevent a Party from designating a monopoly, provided that, if a Party adopts or maintains a measure to privatize such an investment or a measure to designate a monopoly, this Chapter shall apply to such measure.</p>	<p>Article 57 Scope and Coverage</p> <p>1. This Chapter shall apply to measures adopted or maintained by a Party relating to:</p> <p>(a) investors of the other Party;</p> <p>(b) investments of investors of the other Party in the Area of the former Party; and</p> <p>(c) with respect to Articles 65 and 74, all investments in the Area of the former Party.</p> <p>2. A Party has the right to perform exclusively the economic activities set out in Annex 8 and to refuse to permit the establishment of investment in such activities.</p> <p>3. This Chapter shall not apply to measures adopted or maintained by a Party to the extent that they are covered by Chapter 9.</p> <p>4. Nothing in this Chapter shall impose any obligation on either Party regarding measures pursuant to immigration laws and regulations.</p> <p>Note: Nothing in this Chapter shall be construed to prevent a Party from providing a service or performing a function such as law enforcement, correctional services, income security or insurance, social security or insurance, social welfare, public education, public training, health, and child care, in a manner that is not inconsistent with this Chapter.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 第1項について、相手国の投資家、投資行為を定め、パフォーマンス要求の禁止について全ての投資が対象となることを定めている点で、両協定の規定は基本的に合致。 • 米コロンビアFTA（以下「米コ」と呼ぶ）第2項と日墨EPA（以下「日墨」と呼ぶ）第2項は国家行為にかかわる事項が規定されているが、記述が異なるため、整合性につき慎重な検討が必要。 • 「日墨」第3項は、本章が金融サービス章で対象となる措置をカバーしないことを明示的に定めているが、「米コ」では本条ではそのような記述はない（「米コ」では「10.2条 他章との関係」で同様の規定を設けている）。同様に、「日墨」第4項は、人の移動にかかわる法律にかかる措置は、本章によってカバーされない旨規定しているが、「米コ」では本条ではそのような記述はない。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
他の章との関係	<p>Article 10.2: Relation to Other Chapters</p> <p>1. In the event of any inconsistency between this Chapter and another Chapter, the other Chapter shall prevail to the extent of the inconsistency.</p> <p>2. A requirement by a Party that a service supplier of another Party post a bond or other form of financial security as a condition of the cross-border supply of a service does not of itself make this Chapter applicable to measures adopted or maintained by the Party relating to such cross-border supply of the service. This Chapter applies to measures adopted or maintained by the Party relating to the posted bond or financial security, to the extent that such bond or financial security is a covered investment.</p> <p>3. This Chapter does not apply to measures adopted or maintained by a Party to the extent that they are covered by Chapter Twelve (Financial Services).</p>	<p>Article 69 Relation to Other Chapters</p> <p>In the event of any inconsistency between this Chapter and another Chapter, the other Chapter shall prevail to the extent of the inconsistency.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「米コ」、「日墨」とともに、本章が他の章と合致しない場合には、合致しない範囲において他章が優越する旨定める。 「米コ」では、本章で対象とならない行為があること、金融サービス章でカバーされる措置は、本章の対象とならないことを定めている（「日墨」では「57条 適用範囲」で同様の規定を設けている）。
内国民待遇	<p>Article 10.3: National Treatment</p> <p>1. Each Party shall accord to investors of another Party treatment no less favorable than that it accords, in like circumstances, to its own investors with respect to the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, and sale or other disposition of investments in its territory.</p> <p>2. Each Party shall accord to covered investments treatment no less favorable than that it accords, in like circumstances, to investments in its territory of its own investors with respect to the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, and sale or other disposition of investments.</p> <p>3. The treatment to be accorded by a Party under paragraphs 1 and 2 means, with respect to a regional level of government, treatment no less favorable than the most favorable treatment accorded, in like circumstances, by that regional level of government to investors, and to investments of investors, of the Party of which it forms a part.</p>	<p>Article 58 National Treatment</p> <p>1. Each Party shall accord to investors of the other Party and to their investments treatment no less favorable than the treatment it accords, in like circumstances, to its own investors and to their investments with respect to the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, maintenance, use, enjoyment and sale or other disposition of investments (hereinafter referred to in this Chapter as “investment activities”).</p> <p>2. The treatment accorded by a Party under paragraph 1 above means, with respect to a local government in the case of Japan, and with respect to a state in the case of Mexico, treatment no less favorable than the most favorable treatment accorded, in like circumstances, by that local government or state to investors, and to investments of investors, of the Party of which it forms a part.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1項については、「米コ」、「日墨」とともに基本的に同じだが、「日墨」にだけ“maintenance, use, enjoyment”が明示的に挿入されている。 「米コ」では、内国民待遇の対象となるものとして、「投資家」と「カバーされる投資」の二つに分けて第1項、第2項に個別に規定を設けている。「日墨」は一つの規定。 「米コ」、「日墨」とともに地方レベルでの措置について規定していることで合致している。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
最恵国待遇	<p>Article 10.4: Most-Favored-Nation Treatment</p> <p>1. Each Party shall accord to investors of another Party treatment no less favorable than that it accords, in like circumstances, to investors of any other Party or of any non-Party with respect to the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, and sale or other disposition of investments in its territory.</p> <p>2. Each Party shall accord to covered investments treatment no less favorable than that it accords, in like circumstances, to investments in its territory of investors of any other Party or of any non-Party with respect to the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, and sale or other disposition of investments.²</p> <p>Footnote: ² For greater certainty, treatment “with respect to the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, and sale or other disposition of investments” referred to in paragraphs 1 and 2 of Article 10.4 does not encompass dispute resolution mechanisms, such as those in Section B, that are provided for in international investment treaties or trade agreements.</p>	<p>Article 59 Most-Favored-Nation Treatment</p> <p>Each Party shall accord to investors of the other Party and to their investments, treatment no less favorable than the treatment it accords, in like circumstances, to investors of a non-Party and to their investments with respect to investment activities.</p> <p>Note 1: Each Party shall accord to investors of the other Party and to their investments the better of the treatment required by Articles 58 and 59.</p> <p>Note 2: For greater certainty, it is confirmed by both Parties that in the application of Articles 58 and 59 a Party:</p> <p>(a) may not impose on an investor of the other Party a requirement that a minimum level of equity in an enterprise in the Area of the former Party be held by its nationals; or</p> <p>(b) may not require an investor of the other Party, by reason of its nationality, to sell or otherwise dispose of an investment in the Area of the former Party.</p> <p>Note 3: Each Party shall in its Area accord to investors of the other Party treatment no less favorable than the treatment which it accords, in like circumstances, to its own investors or investors of a non-Party with respect to access to the courts of justice and administrative tribunals and agencies in all degrees of jurisdiction, both in pursuit and in defense of such investor’s rights.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 最恵国待遇を与えるとの規定として、基本的に合致。 • 「米コ」では、最恵国待遇の対象となるものとして、「投資家」と「カバーされる投資」の二つに分けて第1項、第2項に個別に規定を設けている。「日墨」は一つの規定。 • 「日墨」では、Note2で、パフォーマンス要求の禁止にかかわる確認を規定。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
一般的待遇	<p>Article 10.5: Minimum Standard of Treatment³</p> <p>1. Each Party shall accord to covered investments treatment in accordance with customary international law, including fair and equitable treatment and full protection and security.</p> <p>2. For greater certainty, paragraph 1 prescribes the customary international law minimum standard of treatment of aliens as the minimum standard of treatment to be afforded to covered investments. The concepts of “fair and equitable treatment” and “full protection and security” do not require treatment in addition to or beyond that which is required by that standard, and do not create additional substantive rights. The obligation in paragraph 1 to provide:</p> <p>(a) “fair and equitable treatment” includes the obligation not to deny justice in criminal, civil, or administrative adjudicatory proceedings in accordance with the principle of due process embodied in the principal legal systems of the world; and</p> <p>(b) “full protection and security” requires each Party to provide the level of police protection required under customary international law.</p> <p>3. A determination that there has been a breach of another provision of this Agreement, or of a separate international agreement, does not establish that there has been a breach of this Article.</p> <p>Footnote: ³ Article 10.5 shall be interpreted in accordance with Annex 10-A.</p>	<p>Article 60 General Treatment</p> <p>Each Party shall accord to investments of investors of the other Party treatment in accordance with international law, including fair and equitable treatment and full protection and security.</p> <p>Note: This Article prescribes the customary international law minimum standard of treatment of aliens as the minimum standard of treatment to be afforded to investments of investors of the other Party. The concepts of “fair and equitable treatment” and “full protection and security” do not require treatment in addition to or beyond that which is required by the customary international law minimum standard of treatment of aliens. A determination that there has been a breach of another provision of this Agreement, or of a separate international agreement, does not establish that there has been a breach of this Article.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一般的待遇の付与について、「米コ」、「日墨」とも基本的に同様の規定を設けている。 • ただし、「米コ」では条のタイトルを“Minimum Standard of Treatment”とし、本文中でその定義、対象範囲について詳述している。「日墨」では、同内容について脚注でより簡潔に記述している。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
争乱の場合の措置	<p>Article 10.6: Treatment in Case of Strife</p> <p>1. Notwithstanding Article 10.13.5(b), each Party shall accord to investors of another Party, and to covered investments, non-discriminatory treatment with respect to measures it adopts or maintains relating to losses suffered by investments in its territory owing to armed conflict or civil strife.</p> <p>2. Notwithstanding paragraph 1, if an investor of a Party, in the situations referred to in paragraph 1, suffers a loss in the territory of another Party resulting from:</p> <p>(a) requisitioning of its covered investment or part thereof by the latter's forces or authorities; or</p> <p>(b) destruction of its covered investment or part thereof by the latter's forces or authorities, which was not required by the necessity of the situation,</p> <p>the latter Party shall provide the investor restitution, compensation, or both, as appropriate, for such loss. Any compensation shall be prompt, adequate, and effective in accordance with Article 10.7.2 through 10.7.4, mutatis mutandis.</p> <p>3. Paragraph 1 does not apply to existing measures relating to subsidies or grants that would be inconsistent with Article 10.3 but for Article 10.13.5(b).</p>	<p>Article 62 Protection from Strife</p> <p>Without prejudice to Article 60 and notwithstanding Article 66, each Party shall accord to investors of the other Party and to their investments treatment no less favorable than the treatment it accords to its own investors or investors of a non-Party and to their investments, whichever is more favorable to the investor of the other Party or its investments, with respect to measures, such as restitution, indemnification, compensation or any other settlement, it adopts or maintains relating to losses suffered by investments in its Area owing to armed conflict, civil strife or any other similar event.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「米コ」、「日墨」とともに、内戦、争乱からの投資保護と、そのような場合の補償等について規定していることで基本的に合致。 • 「日墨」は、対象となる事象について、内戦、争乱に加え、“any other similar event”を明記。 • 「米コ」は、内戦、争乱が生じた場合の補償について、「日墨」よりも詳述。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
収容と補償	<p>Article 10.7: Expropriation and Compensation⁴</p> <p>1. No Party may expropriate or nationalize a covered investment either directly or indirectly through measures equivalent to expropriation or nationalization (“expropriation”), except:</p> <p>(a) for a public purpose⁵;</p> <p>(b) in a non-discriminatory manner;</p> <p>(c) on payment of prompt, adequate, and effective compensation; and</p> <p>(d) in accordance with due process of law and Article 10.5.</p> <p>2. The compensation referred to in paragraph 1(c) shall:</p> <p>(a) be paid without delay;</p> <p>(b) be equivalent to the fair market value of the expropriated investment immediately before the expropriation took place (“the date of expropriation”);</p> <p>(c) not reflect any change in value occurring because the intended expropriation had become known earlier; and</p> <p>(d) be fully realizable and freely transferable.</p> <p>3. If the fair market value is denominated in a freely usable currency, the compensation referred to in paragraph 1(c) shall be no less than the fair market value on the date of expropriation, plus interest at a commercially reasonable rate for that currency, accrued from the date of expropriation until the date of payment.</p> <p>4. If the fair market value is denominated in a currency that is not freely usable, the compensation referred to in paragraph 1(c) – converted into the currency of payment at the market rate of exchange prevailing on the date of payment – shall be no less than:</p> <p>(a) the fair market value on the date of expropriation, converted into a freely usable currency at the market rate of exchange prevailing on that date, plus</p> <p>(b) interest, at a commercially reasonable rate for that freely usable currency, accrued from the date of expropriation until the date of payment.</p> <p>5. This Article does not apply to the issuance of</p>	<p>Article 61 Expropriation and Compensation</p> <p>1. Neither Party shall expropriate or nationalize an investment of an investor of the other Party in its Area either directly or indirectly through measures tantamount to expropriation or nationalization (hereinafter referred to as “expropriation”) except:(a) for a public purpose; (b) on a non-discriminatory basis; (c) in accordance with due process of law and Article 60; and (d) on payment of compensation pursuant to paragraphs 2 through 5 below.</p> <p>2. Compensation shall be equivalent to the fair market value of the expropriated investment immediately before the expropriation occurred. The fair market value shall not reflect any change in value occurring because the expropriatory action had become known earlier. Valuation criteria to determine the fair market value may include declared tax value of tangible property. The compensation shall be paid without delay and be fully realizable.</p> <p>3. If payment is made in a freely usable currency, compensation shall include interest at a commercially reasonable rate for that currency from the date of expropriation until the date of actual payment.</p> <p>4. If a Party elects to pay in a currency other than a freely usable currency, the compensation paid, converted into the currency of payment at the market rate of exchange prevailing on the date of payment, shall be no less than:</p> <p>(a) the fair market value on the date of expropriation, converted into a freely usable currency at the market rate of exchange prevailing on that date, plus</p> <p>(b) interest, at a commercially reasonable rate for that freely usable currency, accrued from the date of expropriation until the actual date of payment.</p> <p>5. On payment, compensation shall be freely transferable as provided in Article 63.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「米コ」、「日墨」とともに収容と補償について、若干記述ぶりに違いが見られるが、基本的に同一の事項について規定。 • ただし、「米コ」については、第5項において、本条がWTO・TRIPS協定に定める知的財産権にかかわる強制的なライセンス発行等には適用されない旨を規定（「日墨」は知的財産権については、「第73条 知的財産及び知的財産権」を設けているが、「米コ」10.7条第5項と「日墨」第73条の記述ぶりは異なる。 • また、「米コ」では第16章として知的財産権に関する独立の章を設けている（「日墨」では知的財産権に関する章はない。）。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
	<p>compulsory licenses granted in relation to intellectual property rights in accordance with the TRIPS Agreement, or to the revocation, limitation, or creation of intellectual property rights, to the extent that such issuance, revocation, limitation, or creation is consistent with Chapter Sixteen (Intellectual Property Rights).</p> <p>Footnote: ⁴ Article 10.7 shall be interpreted in accordance with Annex 10-B. ⁵ For greater certainty, for purposes of this article, the term “public purpose” refers to a concept in customary international law. Domestic law may express this or a similar concept using different terms, such as “public necessity,” “public interest,” or “public use.”</p>		

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
移転	<p>Article 10.8: Transfers</p> <p>1. Each Party shall permit all transfers relating to a covered investment to be made freely and without delay into and out of its territory. Such transfers include:</p> <p>(a) contributions to capital;</p> <p>(b) profits, dividends, capital gains, and proceeds from the sale of all or any part of the covered investment or from the partial or complete liquidation of the covered investment;</p> <p>(c) interest, royalty payments, management fees, and technical assistance and other fees;</p> <p>(d) payments made under a contract, including a loan agreement;</p> <p>(e) payments made pursuant to Article 10.6.1 and 10.6.2 and Article 10.7; and</p> <p>(f) payments arising out of a dispute.</p> <p>2. Each Party shall permit transfers relating to a covered investment to be made in a freely usable currency at the market rate of exchange prevailing at the time of transfer.</p> <p>3. Each Party shall permit returns in kind relating to a covered investment to be made as authorized or specified in a written agreement between the Party and a covered investment or an investor of another Party.</p> <p>4. Notwithstanding paragraphs 1 through 3, a Party may prevent a transfer through the equitable, non-discriminatory, and good faith application of its laws relating to:</p> <p>(a) bankruptcy, insolvency, or the protection of the rights of creditors;</p> <p>(b) issuing, trading, or dealing in securities, futures, options, or derivatives;</p> <p>(c) criminal or penal offenses;</p> <p>(d) financial reporting or record keeping of transfers when necessary to assist law enforcement or financial regulatory authorities; or</p> <p>(e) ensuring compliance with orders or judgments in judicial or administrative proceedings.</p>	<p>Article 63 Transfers</p> <p>1. Each Party shall allow all transfers relating to an investment in its Area of an investor of the other Party to be made freely and without delay. Such transfers shall include:</p> <p>(a) the initial capital and additional amounts to maintain or increase the investment;</p> <p>(b) profits, dividends, interest, capital gains, royalty payments, management fees, technical assistance fees and other fees;</p> <p>(c) proceeds from the sale or liquidation of all or any part of the investment;</p> <p>(d) payments made under a contract including payments made pursuant to a loan agreement;</p> <p>(e) payments made in accordance with Article 61; and</p> <p>(f) payments arising out of the settlement of a dispute under Section 2.</p> <p>2. Each Party shall allow transfers to be made without delay in a freely usable currency at the market rate of exchange prevailing on the date of the transfer with respect to spot transactions in the currency to be transferred.</p> <p>3. Notwithstanding paragraphs 1 and 2 above, a Party may delay or prevent a transfer through the equitable, nondiscriminatory and good faith application of its laws relating to:</p> <p>(a) bankruptcy, insolvency or the protection of the rights of creditors;</p> <p>(b) issuing, trading or dealing in securities;</p> <p>(c) criminal or penal offenses;</p> <p>(d) reports of transfers of currency or other monetary instruments; or</p> <p>(e) ensuring compliance with orders or judgments in adjudicatory proceedings.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 投資にかかわる資金等の移転について、「米コ」、「日墨」ともに基本的に同様の規定を設けている。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
パフォーマンス要求	<p>Article 10.9: Performance Requirements</p> <p>1. No Party may, in connection with the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, or sale or other disposition of an investment of an investor of a Party or of a non-Party in its territory, impose or enforce any requirement or enforce any commitment or undertaking:⁶</p> <p>(a) to export a given level or percentage of goods or services;</p> <p>(b) to achieve a given level or percentage of domestic content;</p> <p>(c) to purchase, use, or accord a preference to goods produced in its territory, or to purchase goods from persons in its territory;</p> <p>(d) to relate in any way the volume or value of imports to the volume or value of exports or to the amount of foreign exchange inflows associated with such investment;</p> <p>(e) to restrict sales of goods or services in its territory that such investment produces or supplies by relating such sales in any way to the volume or value of its exports or foreign exchange earnings;</p> <p>(f) to transfer a particular technology, a production process, or other proprietary knowledge to a person in its territory;⁷ or</p> <p>(g) to supply exclusively from the territory of the Party the goods that such investment produces or the services that it supplies to a specific regional market or to the world market.</p>	<p>Article 65 Performance Requirements</p> <p>1. Neither Party may impose or enforce any of the following requirements, or enforce any commitment or undertaking, in connection with the establishment, acquisition, expansion, management, conduct or operation of an investment of an investor of a Party or of a non-Party in its Area:</p> <p>(a) to export a given level or percentage of goods or services;</p> <p>(b) to achieve a given level or percentage of domestic content;</p> <p>(c) to purchase, use or accord a preference to goods produced or services provided in its Area, or to purchase goods or services from persons in its Area;</p> <p>(d) to relate in any way the volume or value of imports to the volume or value of exports or to the amount of foreign exchange inflows associated with such investment;</p> <p>(e) to restrict sales of goods or services in its Area that such investment produces or provides by relating such sales in any way to the volume or value of its exports or foreign exchange earnings;</p> <p>(f) to transfer technology, a production process or other proprietary knowledge to a person in its Area, except when the requirement is imposed or the commitment or undertaking is enforced by a court, administrative tribunal or competition authority to remedy an alleged violation of competition laws or to act in a manner not inconsistent with multilateral agreements in respect of protection of intellectual property rights. A measure that requires an investment to use a technology to meet generally applicable health, safety or environmental requirements shall not be construed to be inconsistent with this paragraph. For greater certainty, Articles 58 and 59 shall apply to the measure; or</p> <p>(g) to act as the exclusive supplier of the goods it produces or services it provides to a specific region or</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「米コ」、「日墨」のパフォーマンス要求に関する条の構成は極めて類似しているが、所々相違点が見られる。 • 禁止されるパフォーマンス要求について、「日墨」では技術移転について「米コ」よりも詳細に規定されている。 • 本条のパフォーマンス要求禁止が適用されない範囲について、「米コ」では知的財産権にかかわる事項について明示的かつ詳細に規定している。 • 「米コ」では、本条のパフォーマンス要求禁止の一部について、輸出促進・対外援助、政府調達、優遇関税に対して適用されないことが明示的に規定されている。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
	<p>2. No Party may condition the receipt or continued receipt of an advantage, in connection with the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, or sale or other disposition of an investment in its territory of an investor of a Party or of a non-Party, on compliance with any requirement:</p> <p>(a) to achieve a given level or percentage of domestic content;</p> <p>(b) to purchase, use, or accord a preference to goods produced in its territory, or to purchase goods from persons in its territory;</p> <p>(c) to relate in any way the volume or value of imports to the volume or value of exports or to the amount of foreign exchange inflows associated with such investment; or</p> <p>(d) to restrict sales of goods or services in its territory that such investment produces or supplies by relating such sales in any way to the volume or value of its exports or foreign exchange earnings.</p> <p>3. (a) Nothing in paragraph 2 shall be construed to prevent a Party from conditioning the receipt or continued receipt of an advantage, in connection with an investment in its territory of an investor of a Party or of a non-Party, on compliance with a requirement to locate production, supply a service, train or employ workers, construct or expand particular facilities, or carry out research and development, in its territory.</p> <p>(b) Paragraph 1(f) does not apply:</p> <p>(i) when a Party authorizes use of an intellectual property right in accordance with Article 31 of the TRIPS Agreement, or to measures requiring the disclosure of proprietary information that fall within the scope of, and are consistent with, Article 39 of the TRIPS Agreement; or</p>	<p>world market.</p> <p>2. Neither Party may condition the receipt or continued receipt of an advantage, in connection with an investment in its Area of an investor of a Party or of a non-Party, on compliance with any of the following requirements:</p> <p>(a) to achieve a given level or percentage of domestic content;</p> <p>(b) to purchase, use or accord a preference to goods produced in its Area, or to purchase goods from producers in its Area;</p> <p>(c) to relate in any way the volume or value of imports to the volume or value of exports or to the amount of foreign exchange inflows associated with such investment; or</p> <p>(d) to restrict sales of goods or services in its Area that such investment produces or provides by relating such sales in any way to the volume or value of its exports or foreign exchange earnings.</p> <p>3. Nothing in paragraph 2 above shall be construed to prevent a Party from conditioning the receipt or continued receipt of an advantage, in connection with an investment in its Area of an investor of a Party or of a non-Party, on compliance with a requirement to:</p> <p>(a) locate production;</p> <p>(b) provide a service;</p> <p>(c) train or employ workers;</p> <p>(d) construct or expand particular facilities; or</p> <p>(e) carry out research and development in its Area.</p> <p>4. Paragraphs 1 and 2 above shall not apply to any requirement other than the requirements set out in those paragraphs.</p>	

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
	<p>(ii) when the requirement is imposed or the commitment or undertaking is enforced by a court, administrative tribunal, or competition authority to remedy a practice determined after judicial or administrative process to be anticompetitive under the Party's competition laws.⁸</p> <p>(c) Provided that such measures are not applied in an arbitrary or unjustifiable manner, and provided that such measures do not constitute a disguised restriction on international trade or investment, paragraphs 1(b), (c), and (f), and 2(a) and (b), shall not be construed to prevent a Party from adopting or maintaining measures, including environmental measures:</p> <p>(i) necessary to secure compliance with laws and regulations that are not inconsistent with this Agreement,</p> <p>(ii) necessary to protect human, animal, or plant life or health, or</p> <p>(iii) related to the conservation of living or non-living exhaustible natural resources.</p> <p>(d) Paragraphs 1(a), (b), and (c), and 2(a) and (b), do not apply to qualification requirements for goods or services with respect to export promotion and foreign aid programs.</p> <p>(e) Paragraphs 1(b), (c), (f), and (g), and 2(a) and (b), do not apply to procurement.</p> <p>(f) Paragraphs 2(a) and (b) do not apply to requirements imposed by an importing Party relating to the content of goods necessary to qualify for preferential tariffs or preferential quotas.</p> <p>4. For greater certainty, paragraphs 1 and 2 do not apply to any commitment, undertaking, or requirement other than those set out in those paragraphs.</p> <p>5. This Article does not preclude enforcement of any commitment, undertaking, or requirement between private parties, where a Party did not impose or require the commitment, undertaking, or requirement.</p>	<p>5. Provided that such measures are not applied in an arbitrary or unjustifiable manner, or do not constitute a disguised restriction on international trade or investment activities, nothing in subparagraph 1(b) or (c) or 2(a) or (b) above shall be construed to prevent any Party from adopting or maintaining measures:</p> <p>(a) necessary to secure compliance with laws and regulations that are not inconsistent with the provisions of this Agreement;</p> <p>(b) necessary to protect human, animal or plant life or health; or</p> <p>(c) necessary for the conservation of living or nonliving exhaustible natural resources.</p>	

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
	<p>Footnote:</p> <p>⁶ For greater certainty, a condition for the receipt or continued receipt of an advantage referred to in paragraph 2 does not constitute a “commitment or undertaking” for the purposes of paragraph 1.</p> <p>⁷ For greater certainty, nothing in paragraph 1 shall be construed to prevent a Party, in connection with the establishment, acquisition, expansion, management, conduct, operation, or sale or other disposition of an investment of an investor of a Party or of a non-Party in its territory, from imposing or enforcing a requirement or enforcing a commitment or undertaking to train workers in its territory, provided that such training does not require the transfer of a particular technology, production process, or other proprietary knowledge to a person in its territory.</p> <p>⁸ The Parties recognize that a patent does not necessarily confer market power.</p>		

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
経営幹部及び取締役会	<p>Article 10.10: Senior Management and Boards of Directors</p> <p>1. No Party may require that an enterprise of that Party that is a covered investment appoint to senior management positions natural persons of any particular nationality.</p> <p>2. A Party may require that a majority of the board of directors, or any committee thereof, of an enterprise of that Party that is a covered investment, be of a particular nationality, or resident in the territory of the Party, provided that the requirement does not materially impair the ability of the investor to exercise control over its investment.</p>	<p>Article 64 Senior Management and Boards of Directors</p> <p>1. Neither Party may require that an enterprise of that Party that is an investment of an investor of the other Party appoint to senior management positions individuals of any particular nationality.</p> <p>2. A Party may require that a majority of the board of directors, or any committee thereof, of an enterprise of that Party that is an investment of an investor of the other Party, be of a particular nationality, or resident of the Party, provided that the requirement does not materially impair the ability of the investor to exercise control over its investment.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「米コ」、「日墨」とともに経営幹部及び取締役会について基本的に同様の規定を設けている。
投資及び環境	<p>Article 10.11: Investment and Environment</p> <p>Nothing in this Chapter shall be construed to prevent a Party from adopting, maintaining, or enforcing any measure otherwise consistent with this Chapter that it considers appropriate to ensure that investment activity in its territory is undertaken in a manner sensitive to environmental concerns.</p>	<p>Article 74 Environmental Measures</p> <p>The Parties recognize that it is inappropriate to encourage investment by relaxing domestic health, safety or environmental measures. Accordingly, a Party should not waive or otherwise derogate from, or offer to waive or otherwise derogate from, such measures as an encouragement for the establishment, acquisition, expansion or retention in its Area of an investment of an investor. If a Party considers that the other Party has offered such an encouragement, it may request consultations with the other Party and the Parties shall consult with a view to avoiding any such encouragement.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「米コ」、「日墨」とともに、投資における環境配慮の規定を設けている点で合致する。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
利益の否認	<p>Article 10.12: Denial of Benefits</p> <p>1. A Party may deny the benefits of this Chapter to an investor of another Party that is an enterprise of such other Party and to investments of that investor if persons of a non-Party own or control the enterprise and the denying Party:</p> <p>(a) does not maintain diplomatic relations with the non-Party; or</p> <p>(b) adopts or maintains measures with respect to the non-Party or a person of the non-Party that prohibit transactions with the enterprise or that would be violated or circumvented if the benefits of this Chapter were accorded to the enterprise or to its investments.</p> <p>2. A Party may deny the benefits of this Chapter to an investor of another Party that is an enterprise of such other Party and to investments of that investor if the enterprise has no substantial business activities in the territory of any Party, other than the denying Party, and persons of a non-Party, or of the denying Party, own or control the enterprise.</p>	<p>Article 70</p> <p>Denial of Benefits</p> <p>1. A Party may deny the benefits of this Chapter to an investor of the other Party that is an enterprise of such Party and to an investment of such investor if investors of a non-Party own or control the enterprise and the denying Party:</p> <p>(a) does not maintain diplomatic relations with the non-Party; or</p> <p>(b) adopts or maintains measures with respect to the non-Party that prohibit transactions with the enterprise or that would be violated or circumvented if the benefits of this Chapter were accorded to the enterprise or to its investments.</p> <p>2. Subject to prior notification and consultation, a Party may deny the benefits of this Chapter to an investor of the other Party that is an enterprise of such Party and to investments of such investor if investors of a non-Party own or control the enterprise and the enterprise has no substantial business activities in the Area of the Party under whose law it is constituted or organized.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「米コ」、「日墨」ともに、利益の否認について基本的に同様の規定を設けている。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
<p>整合的でない措置</p>	<p>Article 10.13: Non-Conforming Measures</p> <p>1. Articles 10.3, 10.4, 10.9, and 10.10 do not apply to:</p> <p>(a) any existing non-conforming measure that is maintained by a Party at:</p> <p>(i) the central level of government, as set out by that Party in its Schedule to Annex I,</p> <p>(ii) a regional level of government, as set out by that Party in its Schedule to Annex I, or</p> <p>(iii) a local level of government;</p> <p>(b) the continuation or prompt renewal of any non-conforming measure referred to in subparagraph (a); or</p> <p>(c) an amendment to any non-conforming measure referred to in subparagraph (a) to the extent that the amendment does not decrease the conformity of the measure, as it existed immediately before the amendment, with Article 10.3, 10.4, 10.9, or 10.10.</p> <p>2. Articles 10.3, 10.4, 10.9, and 10.10 do not apply to any measure that a Party adopts or maintains with respect to sectors, subsectors, or activities, as set out in its Schedule to Annex II.</p> <p>3. No Party may, under any measure adopted after the date of entry into force of this Agreement and covered by its Schedule to Annex II, require an investor of another Party, by reason of its nationality, to sell or otherwise dispose of an investment existing at the time the measure becomes effective.</p> <p>4. Articles 10.3 and 10.4 do not apply to any measure that is an exception to, or derogation from, the obligations under paragraph 8 of Article 16.1 (General Provisions) as specifically provided in that Article.</p> <p>5. Articles 10.3, 10.4, and 10.10 do not apply to:</p> <p>(a) procurement; or</p> <p>(b) subsidies or grants provided by a Party, including government-supported loans, guarantees, and insurance.</p>	<p>Article 66 Reservations and Exceptions</p> <p>1. Articles 58, 59, 64 and 65 shall not apply to:</p> <p>(a) any existing non-conforming measure that is maintained by a Party at the federal or central government level, as set out in its Schedule to Annex 6 or Annex 8; or</p> <p>(b) any existing non-conforming measure that is maintained by:</p> <p>(i) with respect to Mexico:</p> <p>(AA) a state, for 6 months after the date of entry into force of this Agreement, and thereafter as to be set out by Mexico in its Schedule to Annex 6 in accordance with paragraph 2 below; or</p> <p>(BB) a local government; and</p> <p>(ii) with respect to Japan:</p> <p>(AA) a prefecture, for 6 months after the date of entry into force of this Agreement, and thereafter as to be set out by Japan in its Schedule to Annex 6 in accordance with paragraph 2 below; or</p> <p>(BB) a local authority other than prefectures;</p> <p>(c) the continuation or prompt renewal of any nonconforming measure referred to in subparagraphs (a) and (b) above; or</p> <p>(d) an amendment or a modification to any nonconforming measure referred to in subparagraphs (a) and (b) above provided that the amendment or modification does not decrease the conformity of the measure, as it existed immediately before the amendment or modification, with Articles 58, 59, 64 and 65.</p> <p>2. Each Party shall set out in its Schedule to Annex 6, within 6 months of the date of entry into force of this Agreement, any existing non-conforming measure maintained by a state or a prefecture as referred to in subparagraphs 1(b)(i)(AA) and 1(b)(ii)(AA) above, and shall notify thereof the other Party by a diplomatic note.</p> <p>3. Articles 58, 59, 64 and 65 shall not apply to any measure that a Party adopts or maintains with respect</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「米コ」、「日墨」とともに、本章と整合的でない措置の扱いについて規定している。 • 如何なる措置が如何なる扱いを受けることになっているかは、Annexを含めて、詳細な検討が必要であると思われる。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
		<p>to sectors, subsectors or activities, as set out in its Schedule to Annex 7.</p> <p>4. Neither Party may, under any measure adopted after the date of entry into force of this Agreement and covered by Annex 7, require an investor of the other Party, by reason of its nationality, to sell or otherwise dispose of an investment that exists at the time the measure becomes effective.</p> <p>5. Article 59 shall not apply to treatment accorded by a Party pursuant to agreements, or with respect to sectors, set out in its Schedule to Annex 9.</p> <p>6. Articles 58, 59 and 64 shall not apply to any measure adopted or maintained with respect to procurement by a Party or a state enterprise.</p> <p>7. The provisions of:</p> <p>(a) subparagraphs 1(a), (b) and (c), and 2(a) and (b) of Article 65 shall not apply to qualification requirements for goods or services with respect to export promotion and foreign aid programs;</p> <p>(b) subparagraphs 1(b), (c), (f) and (g), and 2(a) and (b) of Article 65 shall not apply to procurement by a Party or a state enterprise; and</p> <p>(c) subparagraphs 2(a) and (b) of Article 65 shall not apply to requirements imposed by an importing Party relating to the content of goods necessary to qualify for preferential tariffs or preferential quotas.</p>	

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
特別な手続き及び情報の要求	<p>Article 10.14: Special Formalities and Information Requirements</p> <p>1. Nothing in Article 10.3 shall be construed to prevent a Party from adopting or maintaining a measure that prescribes special formalities in connection with covered investments, such as a requirement that investors be residents of the Party or that covered investments be legally constituted under the laws or regulations of the Party, provided that such formalities do not materially impair the protections afforded by a Party to investors of another Party and covered investments pursuant to this Chapter.</p> <p>2. Notwithstanding Articles 10.3 and 10.4, a Party may require an investor of another Party or its covered investment to provide information concerning that investment solely for informational or statistical purposes. The Party shall protect any confidential business information from any disclosure that would prejudice the competitive position of the investor or the covered investment. Nothing in this paragraph shall be construed to prevent a Party from otherwise obtaining or disclosing information in connection with the equitable and good faith application of its law.</p>	<p>Article 68 Special Formalities and Information Requirements</p> <p>1. Nothing in Article 58 shall be construed to prevent a Party from adopting or maintaining a measure that prescribes special formalities in connection with the establishment of investments by investors of the other Party, such as the compliance with registration requirements or that investments be legally constituted under the laws or regulations of the Party, provided that such formalities do not materially impair the protection afforded by a Party to investors of the other Party and investments of investors of the other Party pursuant to this Chapter.</p> <p>2. Notwithstanding Article 58 or 59, a Party may require an investor of the other Party, or its investment in its Area, to provide routine information concerning that investment solely for information or statistical purposes. The Party shall protect such business information that is confidential from any disclosure that would prejudice the competitive position of the investor or the investment. Nothing in this paragraph shall be construed to prevent a Party from otherwise obtaining or disclosing information in connection with the equitable and good faith application of its law.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「米コ」、「日墨」ともに、特別な手続き及び情報の要求について基本的に同様の規定を設けている。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
通報		<p>Article 67 Notification</p> <p>To the maximum extent possible, each Party shall notify the other Party of any new measure that the former Party considers might materially affect the implementation and operation of this Chapter and of Annexes 6 to 9.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「日墨」では、本章の履行・運用に影響を与えうる新たな措置について、双方が通知する義務がある旨規定している。「米コ」の投資章ではそのような規定はない。
投資支援		<p>Article 71 Investment Support</p> <p>1. An issuer may provide to investors of any Party, investment support in connection with projects or activities in the Area of the other Party. Investors and investments of investors of a Party in the Area of the other Party may enter into agreements for investment support with the issuer. The issuer will undertake investment support only in respect of projects and activities allowed by this Agreement.</p> <p>2. If the issuer makes a payment to any person or entity, or exercises its rights as a creditor or subrogee, in connection with any investment support, the other Party shall recognize the transfer to, or acquisition by, the issuer of any cash, accounts, credits, instruments or other assets in connection with such payment or the exercise of such rights, as well as the succession of the issuer to any right, title, claim, privilege or cause of action, existing, or which may arise, in connection therewith.</p> <p>3. With respect to any interests transferred to or acquired by the issuer or any interests to which the issuer succeeds, under this Article, in its own right or otherwise by contract or operation of law, the issuer shall assert no greater rights than those of the person or entity from whom such interests were received.</p> <p>4. To the extent that the laws of a Party partially or wholly restrict ownership or acquisition by, or transfer or succession to, the issuer of any interests as described in paragraph 3 above, the Party shall permit the issuer to make appropriate arrangements to transfer such assets, interests or rights to a person or entity permitted to own them under the laws of that Party.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「日墨」では、投資支援に関する規定があるが、「米コ」の投資章には同様の規定はない。

条目	米コロンビアFTA	日墨EPA	類似点・相違点
一時的なセーフガード措置		<p>Article 72 Temporary Safeguard Measures</p> <p>1. A Party may adopt or maintain measures not conforming with its obligations under Article 58 relating to cross-border capital transactions and Article 63:</p> <p>(a) in the event of serious balance-of-payments and external financial difficulties or imminent threat thereof; or</p> <p>(b) in cases where, in exceptional circumstances, movements of capital cause or threaten to cause serious difficulties for macroeconomic management, in particular, monetary and exchange rate policies.</p> <p>2. Measures referred to in paragraph 1 above:</p> <p>(a) shall be consistent with the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended;</p> <p>(b) shall not exceed those necessary to deal with the circumstances set out in paragraph 1 above;</p> <p>(c) shall be temporary and shall be eliminated as soon as conditions permit; and</p> <p>(d) shall be promptly notified to the other Party.</p> <p>3. Nothing in this Chapter shall be regarded as altering the rights enjoyed and obligations undertaken by a Party as a party to the Articles of Agreement of the International Monetary Fund, as may be amended.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「日墨」では、一時的なセーフガード措置に関する規定があるが、「米コ」の投資章には同様の規定はない。
知的財産及び知的財産権		<p>Article 73 Intellectual Property Rights</p> <p>1. Nothing in this Chapter shall be construed so as to derogate from the rights and obligations under multilateral agreements in respect of protection of intellectual property rights to which the Parties are parties.</p> <p>2. Nothing in this Chapter shall be construed so as to oblige either Party to extend to investors of the other Party and their investments treatment accorded to investors of a non-Party and their investments by virtue of multilateral agreements in respect of protection of intellectual property rights, to which the former Party is a party.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「日墨」は投資章の中に、「知的財産及び知的財産権」の条を設けているが、「米コ」にはない。 なお、「米コ」については「10.7条 収容及び補償」第5項において、本条がWTO・TRIPS協定に定める知的財産権にかかわる強制的なライセンス発行等には適用されない旨を規定。 また、「米コ」では第16章として知的財産権に関する独立の章を設けている（「日墨」では知的財産権に関する章はない。）。

第3章 経済連携政策の違いによる影響・効果の分析

本調査では、アンデス諸国を「経済連携を積極的に推進する国」と「そうでない国」に大別し、経済連携があることによる影響・効果、経済連携がないことによる影響効果を貿易・投資の変化や経済動向の実データ、現地企業及び日系企業の見解等をベースに分析することとした。

本調査では、調査開始時の仮説として以下のような分類を行った。

経済連携を積極的に推進する国	そうでない国
コロンビア、ペルー	エクアドル、ボリビア

第2章で議論したとおり、アンデス4カ国は基本的にいずれの国も対外貿易自由化に基本的に積極姿勢を取ってきた。その中で、コロンビア、ペルーは、諸外国・地域とのFTA締結に積極姿勢を見せている。一方で、エクアドル、ボリビアは、対外貿易自由化の方針は崩しておらず、決してFTA政策を完全に排除しているわけでもないが、両国の現政権はいずれも、米国等の諸外国とのFTA締結については慎重姿勢を示している。

このような政策の違いは、実体経済面で如何なる相違をもたらしているのであろうか。ここで留意しなければならないのは、コロンビア、ペルーの2カ国にしても、経済連携に積極的に取り組むようになったのは近年のことだということである。とはいえ、貿易・投資動向や、実体経済の動向が当該国の通商政策動向に大きな影響をあたえることは十分に考えられるし、また、未だ経済連携協定が締結されていない段階でも、アナウンスメント効果として貿易・投資を含む実体経済への影響が生じている可能性も考えられる。このような問題意識に立ち、本調査では、過去10年程度さかのぼり、これら4カ国の貿易・投資動向をデータとしてまとめ、これらを相互に比較するとともに、政策との相関を探ることで何らかの示唆を求めることとした。

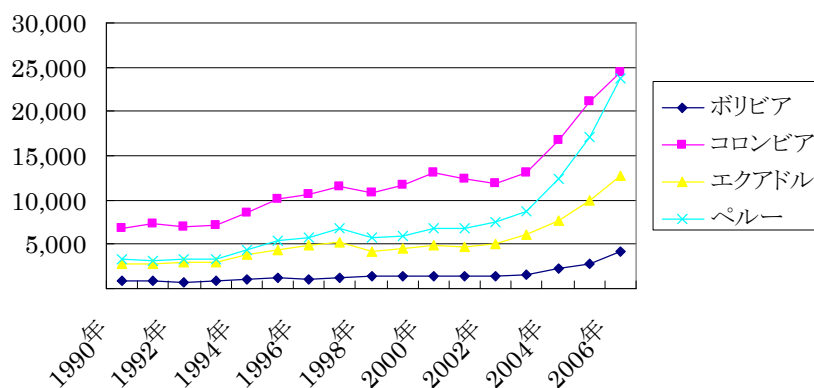
3.1 アンデス4カ国の貿易動向と経済連携政策

3.1.1 アンデス4カ国の比較

アンデス4カ国における1990年以降の輸出額の推移を示したのが図表3-1及び図表3-2である。図表3-1は名目額の推移を、図表3-2は1990年を100として各年の名目額を指標化したものである。

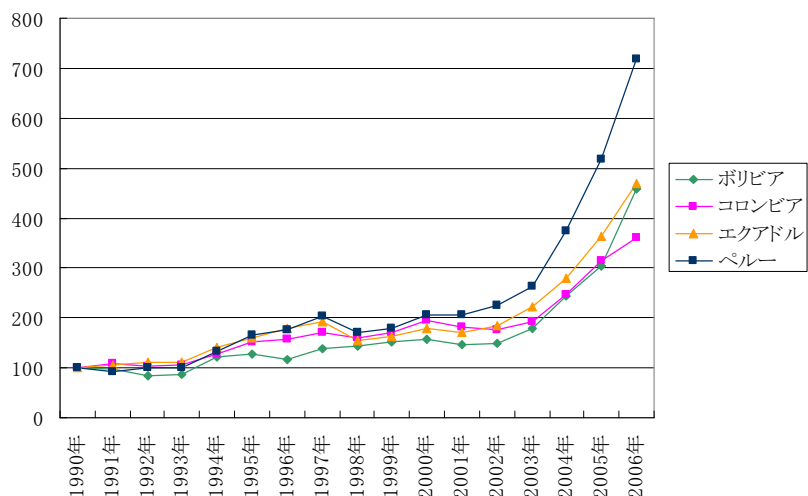
これら図表から、アンデス4カ国の中ではコロンビア、ペルーの近年における輸出額の伸びが顕著であることが分かる。近年の伸びは資源高に支えられていると大きいと考えられる。

図表3-1 アンデス4カ国の輸出額の推移（1990年-2006年、単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

図表3-2 アンデス4カ国の輸出額の伸び（1990年を100とした比率）

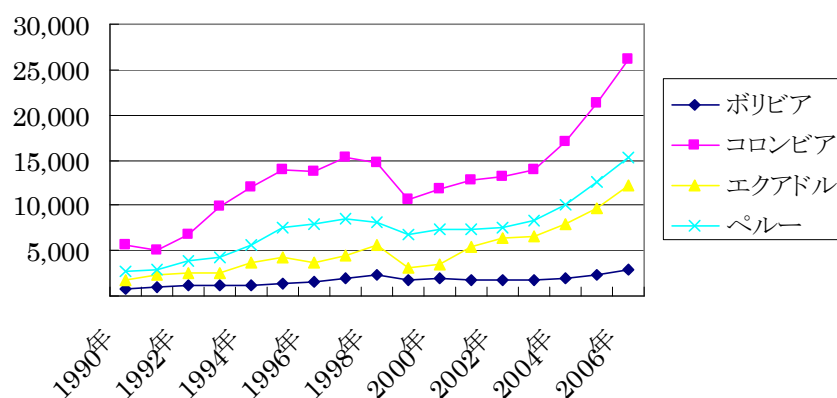


出所：UNCOMTRADE

図表 3-3 及び図表 3-4 は、同様の数値・指標をアンデス 4 カ国の輸入について見たものである。図表 3-1 及び図表 3-2 と比較すれば分かるとおり、これらの 4 カ国の輸出と輸入はほぼ同じトレンドを描いている。ただし、ペルーについては、輸入額の伸びよりも輸出額の伸びのほうが著しく、近年、貿易収支が改善していることが分かる。

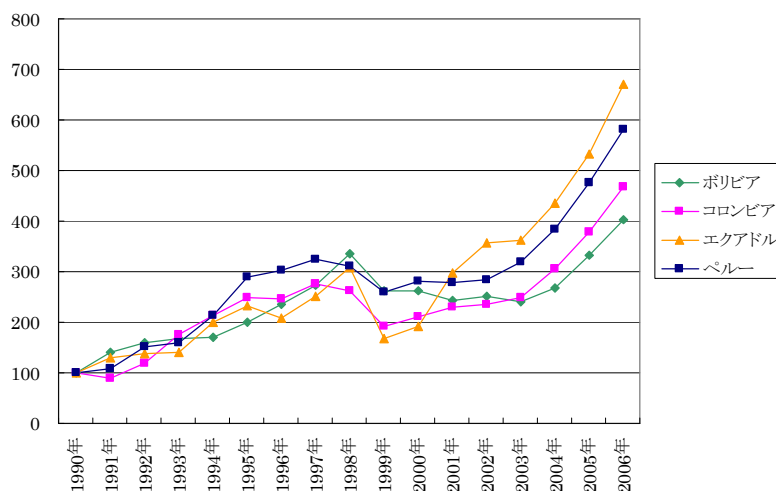
これらのトレンドを見て分かることは、アンデス 4 カ国のいずれの国も近年輸出入双方ともに貿易額が増加しており、これらの国にとっての貿易の重要性が増していることである。このなかでもコロンビア、ペルーは貿易額の増加が顕著であり、そのことが、これら 2 カ国が他の 2 カ国に比べて先行して FTA に取り組むことになった背景にあると考えられる。

図表 3-3 アンデス 4 カ国の輸入額の推移（1990 年-2006 年、単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

図表 3-4 アンデス 4 カ国の輸入額の伸び（1990 年を 100 とした場合の比率）



出所：UNCOMTRADE

3.1.2 コロンビアの貿易動向と経済連携

コロンビアの貿易動向について詳しく見てみたい。図表 3-5 及び図表 3-6 は、コロンビアの輸出入を品目分類別に見たものである。図表 3-5 を見ると、コロンビアの近年の輸出額の伸びが鉱物性燃料（石油、石炭）の輸出額の伸びに支えられていることが分かる。また、工業製品のシェアが伸びていることにも注目すべきである。

他方、図表 3-6 からは、コロンビアが輸入しているものの中では、機械・輸送機器類のシェアが最も高いことが分かる。この品目類の輸入額の伸びは近年特に顕著である。

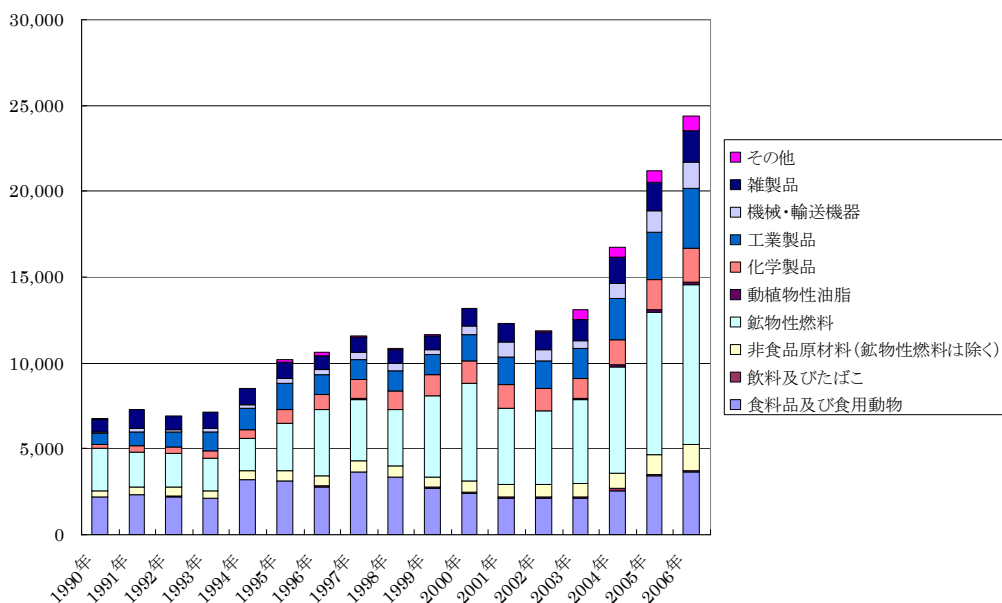
図表 3-7 は、主要貿易相手先別に輸出額の推移を見たものである。この図表から、近年のコロンビアの輸出は、もっぱら NAFTA 向けに増加していることが分かる。すなわち、対米依存度を急速に強めている。

一方、図表 3-8 は、主要貿易相手先別に輸入額の推移を見たものである。輸入額についても、輸出額同様に NAFTA との取引の伸びが顕著である。NAFTA に続くのがメルコスールからの輸入である。この点、輸出との対比が見られる。すなわち、メルコスールとの間では、コロンビアからの輸出は小額にとどまっているが、輸入元としてのメルコスールとの関係は近年急激に強まっている。EU からの輸入について、2006 年実績ではメルコスールに追い抜かれているものの、一貫して緩やかな上昇トレンドを描いている。

このように見ると、コロンビアにとっては輸出入ともに NAFTA が圧倒的に重要な貿易相手先であることが分かる。コロンビアが米国との FTA に積極的であったのは、かねて米国への依存度が強かったからであるが、米国との FTA 交渉の進展が実体面ですます米国依存度を強める方向に動かしたとも言えるかもしれない。

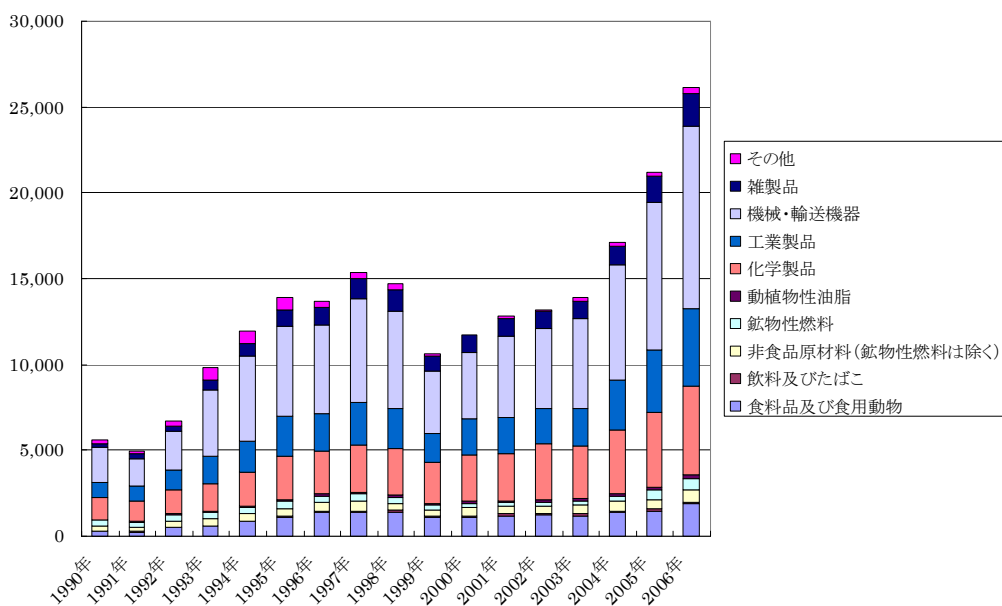
ところで、コロンビアについては、同国の FTA 政策とそれによって期待される効果について、現地政府、産業団体等に対してアンケート・インタビュー調査を行った。その結果、同国にとって、経済的効果が重視されていることが分かった。さらに、FTA の締結先としては、貿易量の多さが重視されていることが分かった。米国が FTA の締結先として選ばれたのは、そのような経済重視・貿易量重視の姿勢の結果であるとも考えられる。

図表 3-5 コロンビアの輸出額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



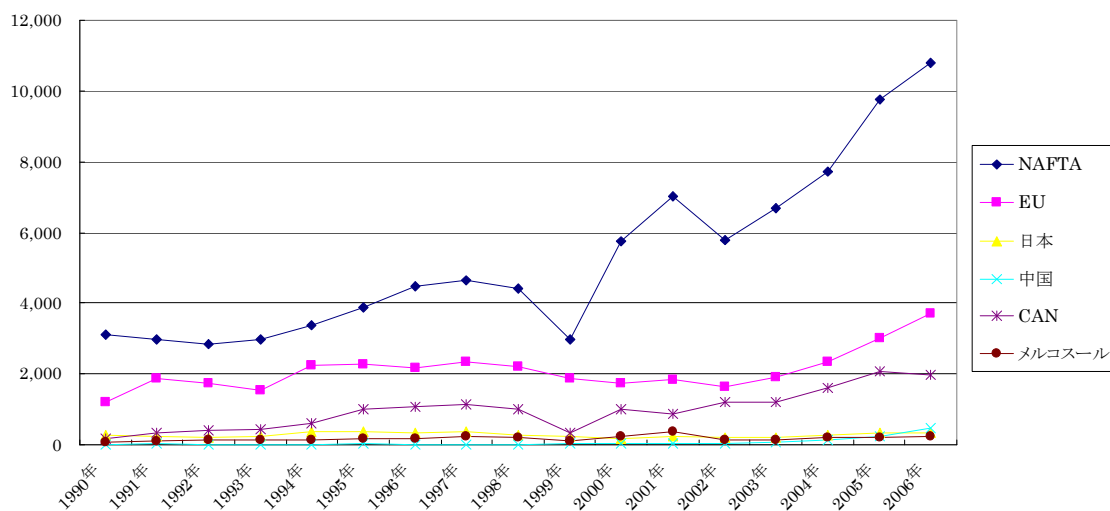
出所：UNCOMTRADE

図表 3-6 コロンビアの輸入額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



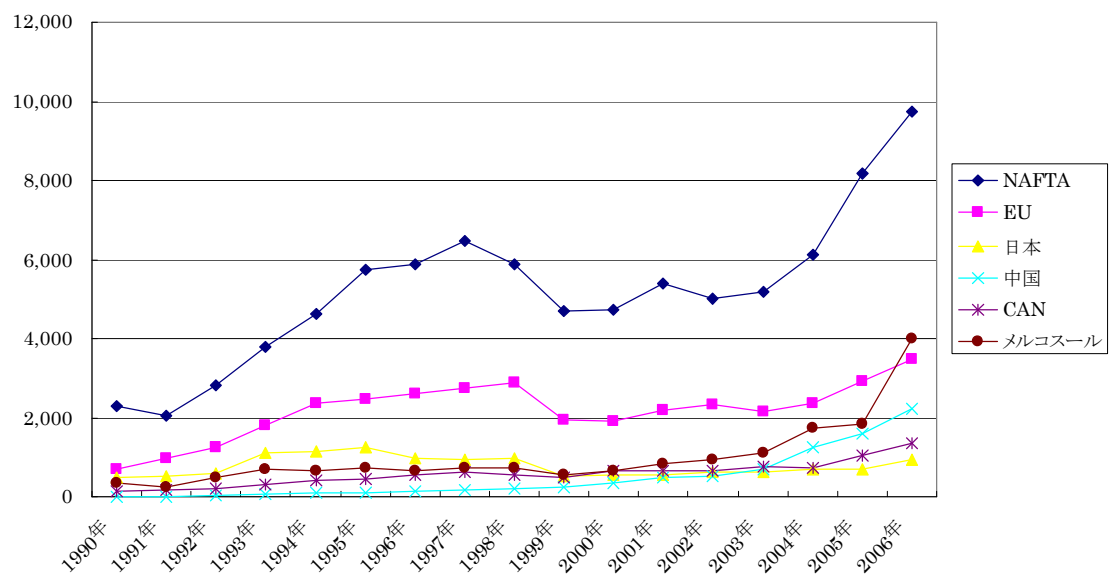
出所：UNCOMTRADE

図表 3-7 コロンビアの主要貿易相手先別輸出額の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

図表 3-8 コロンビアの主要貿易相手先別輸入額の推移（単位：百万ドル）

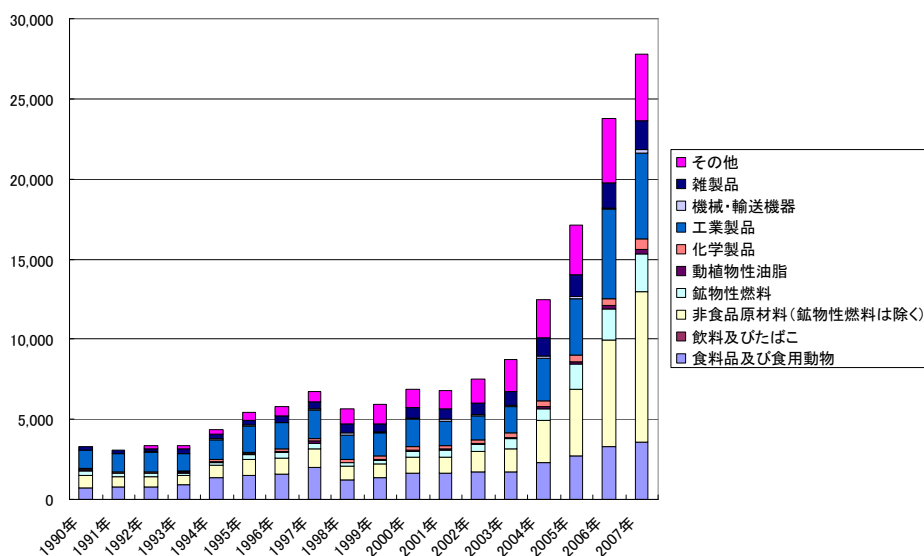


出所：UNCOMTRADE

3.1.3 ペルーの貿易動向と経済連携

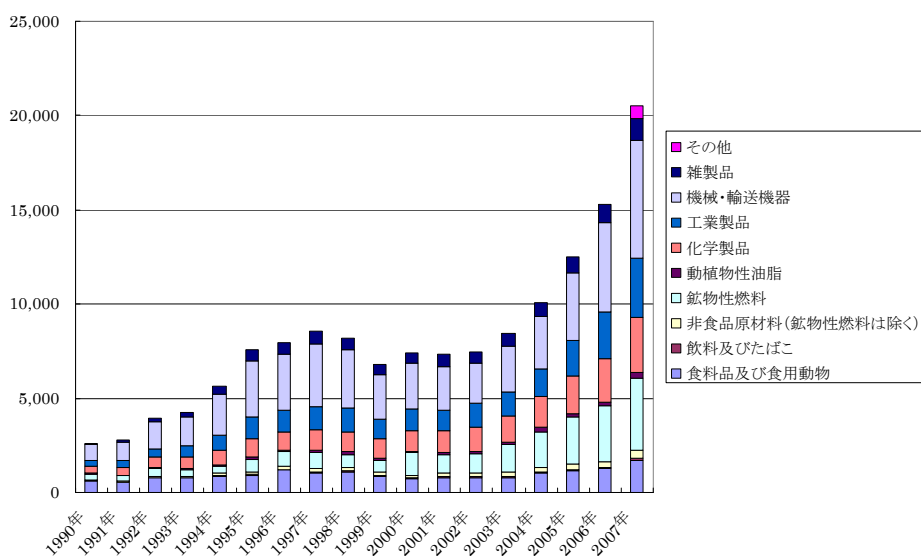
図表 3-9 及び図表 3-10 は、ペルーの輸出入を品目分類別に見たものである。図表 3-8 を見ると、ペルーの輸出の伸びは、非食品原材料において顕著である。また、工業製品の伸びも注目される。他方輸入については、機械・輸送機器の輸入が伸びている。

図表 3-9 ペルーの輸出額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

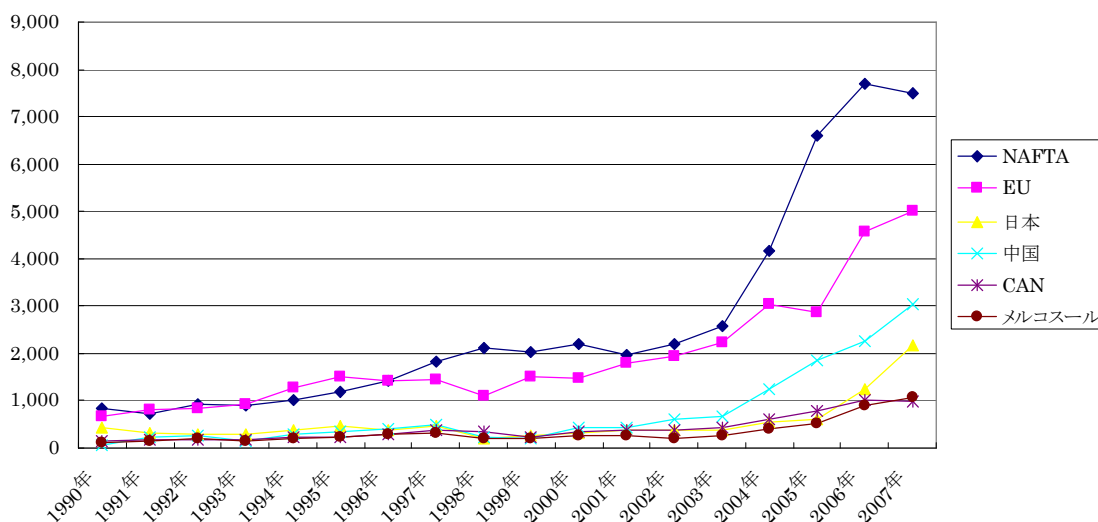
図表 3-10 ペルーの輸入額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

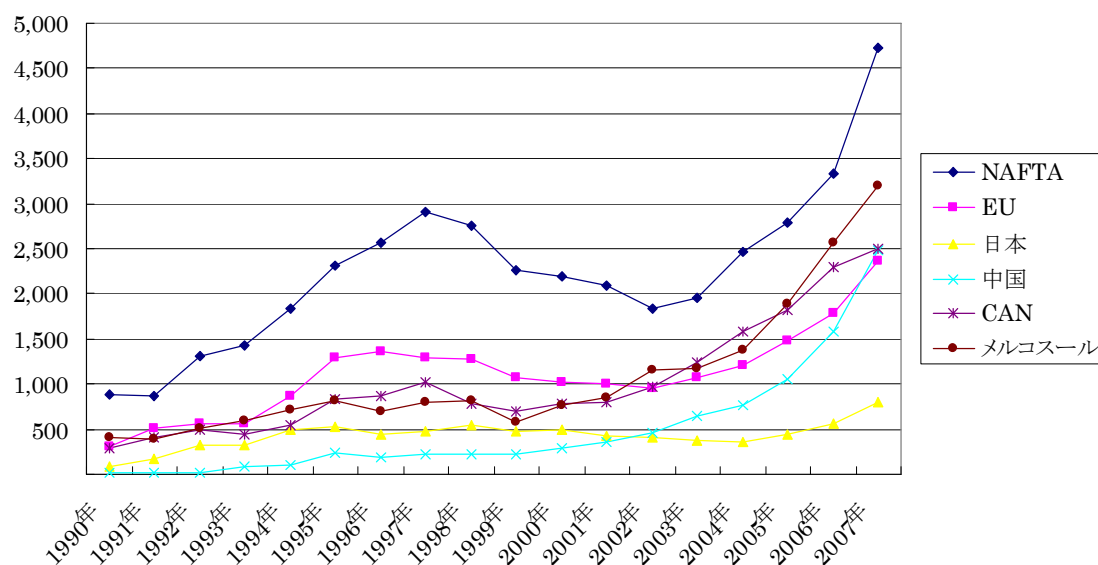
図表 3-11 及び図表 3-12 はペルーの主要貿易相手先別輸出入額の推移を見たものである。コロンビアと同様、NAFTA 向けの輸出増が著しいが、EU 向けの輸出額も伸びていることが注目される。輸入相手としてメルコスールの規模が大きいのもコロンビアと同様の傾向である。

図表 3-11 ペルーの主要貿易相手先別輸出額の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

図表 3-12 ペルーの主要貿易相手先別輸入額の推移（単位：百万ドル）

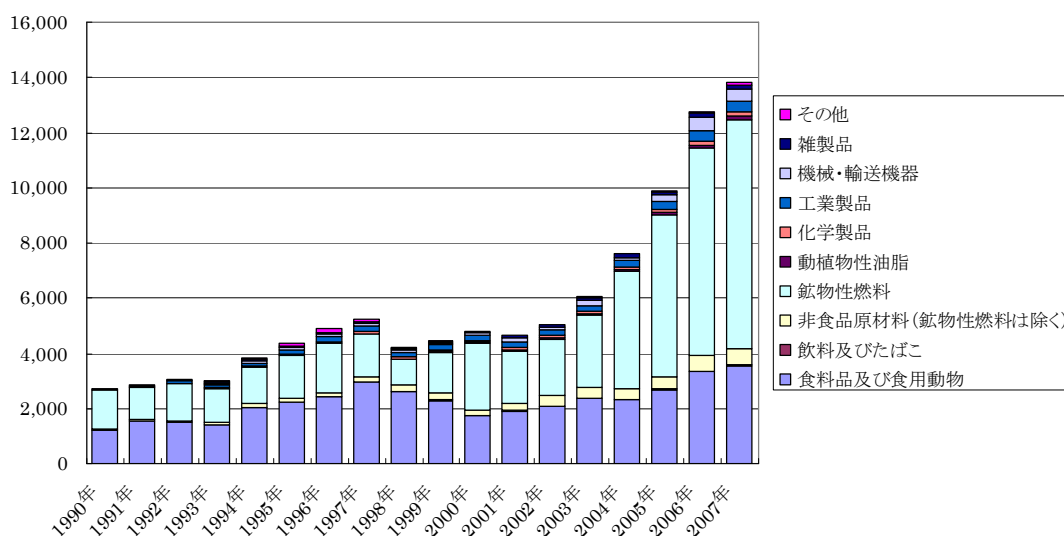


出所：UNCOMTRADE

3.1.4 エクアドルの貿易動向と経済連携

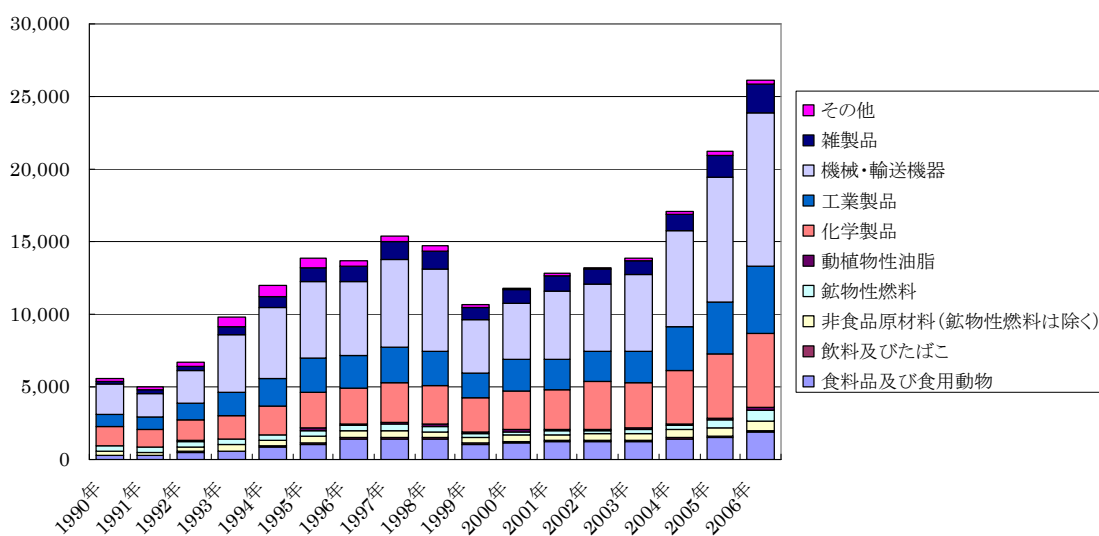
図表 3-13 及び図表 3-14 は、エクアドルの輸出入を品目分類別に見たものである。図表 3-13 を見ると、エクアドルの輸出は、鉱物性燃料、すなわち原油輸出に大きく依存しており、その依存度は近年ますます高まっていることが分かる。一方、図表 3-14 で輸入面を見ると、輸入額が伸びているのは機械・輸送機器類である。

図表 3-13 エクアドルの輸出額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

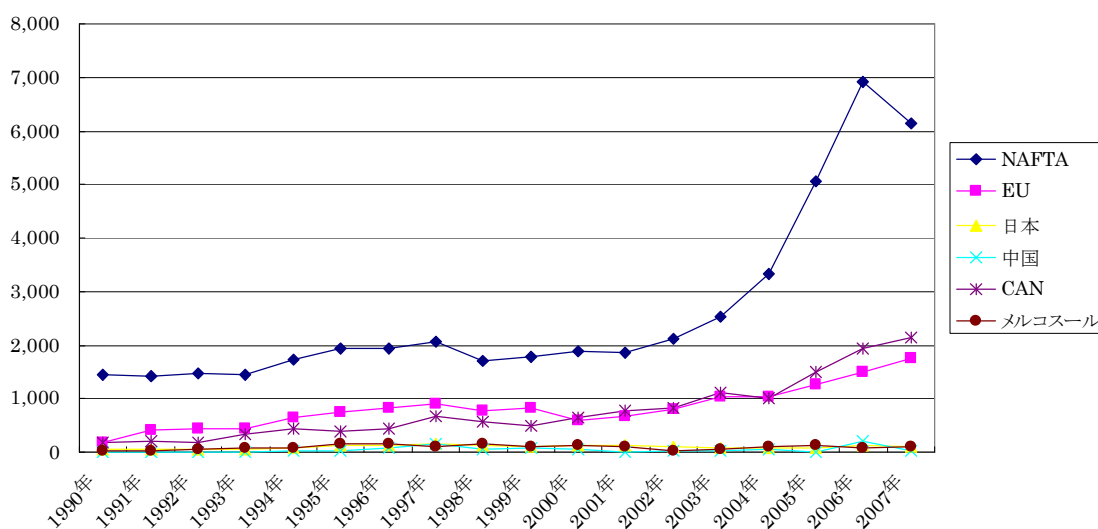
図表 3-14 エクアドルの輸入額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

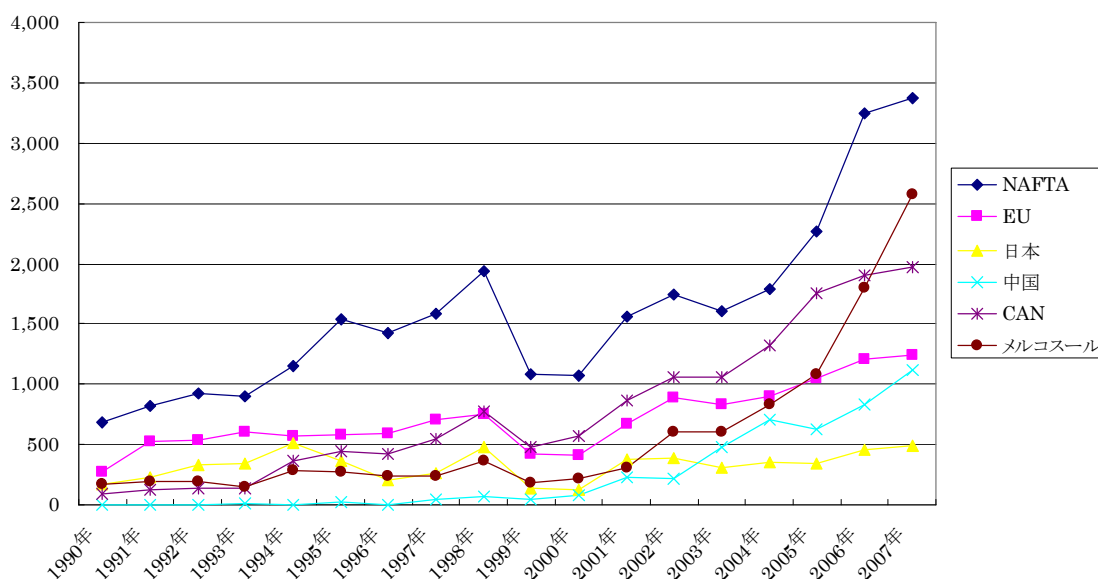
図表 3-15 及び図表 3-16 はエクアドルの主要貿易相手先別輸出入額の推移を見たものである。コロンビア、ペルーと同様、NAFTA 向けの輸出増が著しい。また、近年、CAN 域内への輸出が伸び、EU 向け輸出を上回っていることが注目される。輸入についても、NAFTA との取引増が顕著である。輸入元としてはメルコスール、CAN との取引額が多いことが注目される。

図表 3-15 エクアドルの主要貿易相手先別輸出額の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

図表 3-16 エクアドルの主要貿易相手先別輸入額の推移（単位：百万ドル）

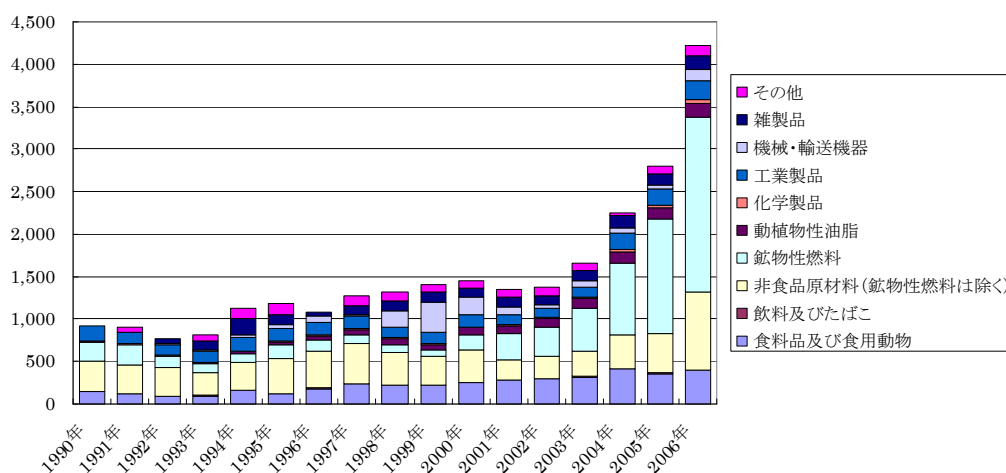


出所：UNCOMTRADE

3.1.5 ポリビアの貿易動向と経済連携

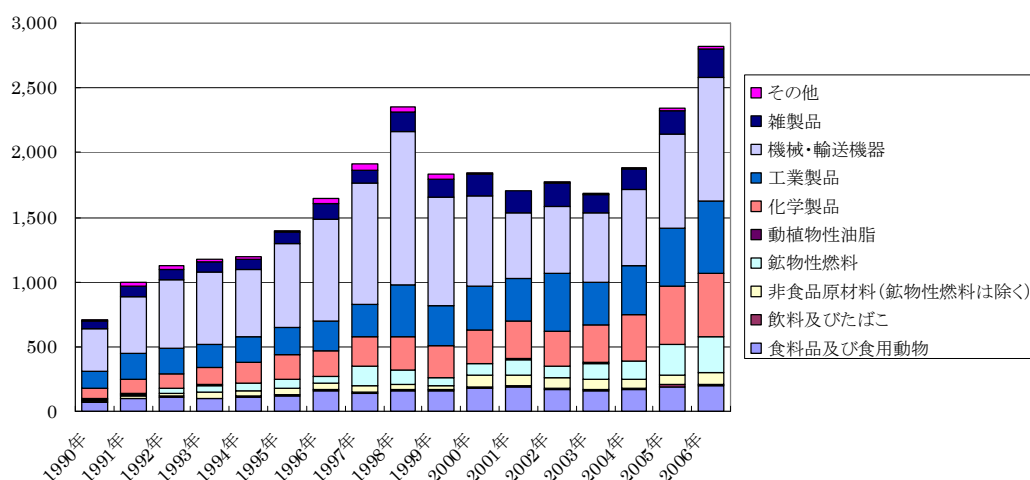
図表 3-17 及び図表 3-18 は、ポリビアの輸出入を品目分類別に見たものである。図表 3-17 を見ると、ポリビアの輸出は、鉱物性燃料に大きく依存しており、その依存度は近年ますます高まっていることが分かる。一方、図表 3-18 で輸入面を見ると、機械・輸送機器類のシェアが高く、その金額も近年伸びているが、近年では化学製品の輸入額が増加している。

図表 3-17 ポリビアの輸出額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

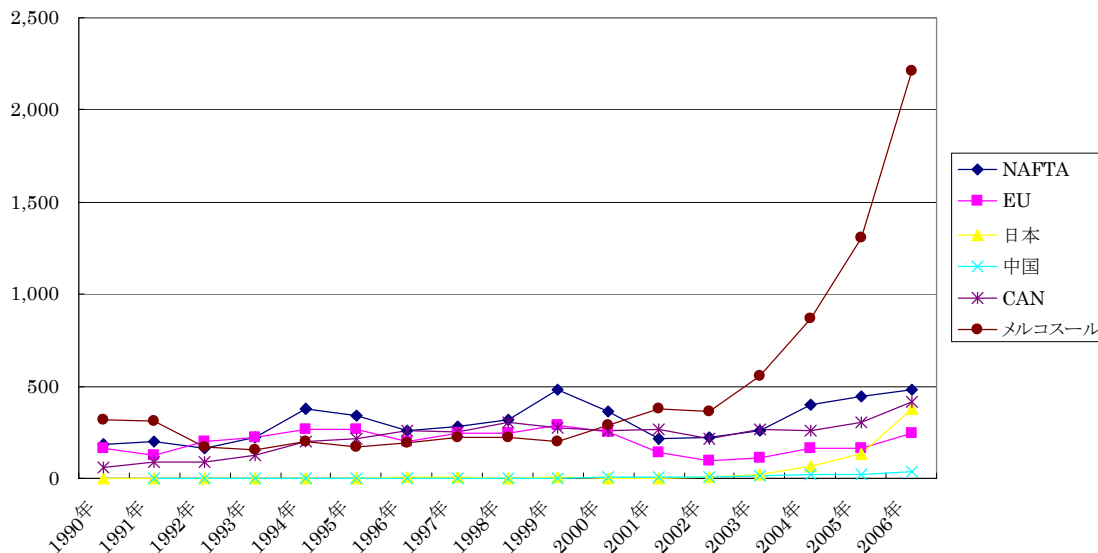
図表 3-18 ポリビアの輸入額品目別内訳の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

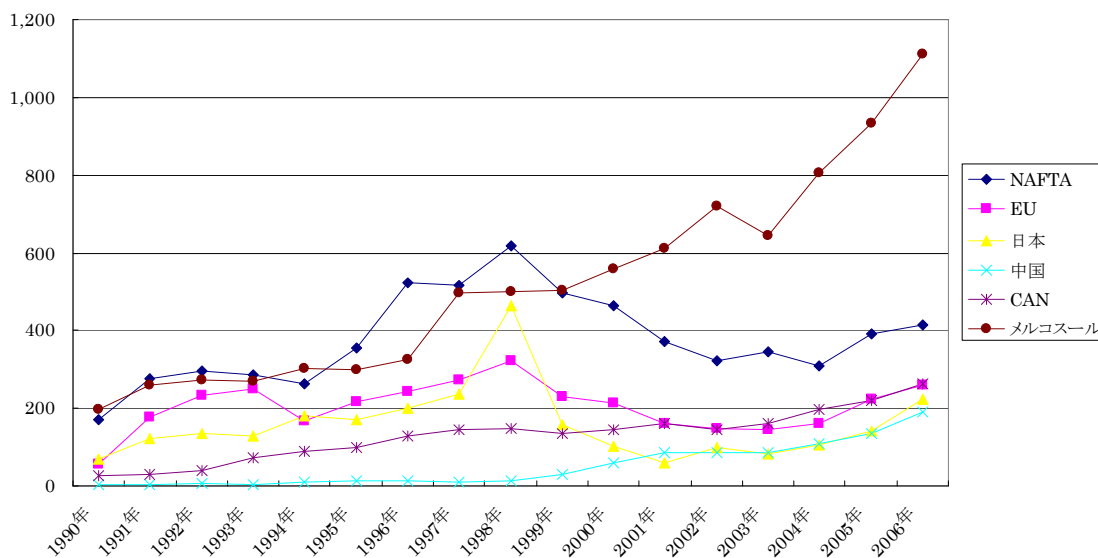
図表 3-19 及び図表 3-20 はボリビアの主要貿易相手先別輸出入額の推移を見たものである。ボリビアは、他のアンデス 3 ヶ国と異なり、メルコスール、特にブラジルへの輸出入依存度が高いことが顕著である。

図表 3-19 ボリビアの主要貿易相手先別輸出額の推移（単位：百万ドル）



出所：UNCOMTRADE

図表 3-20 ボリビアの主要貿易相手先別輸入額の推移（単位：百万ドル）



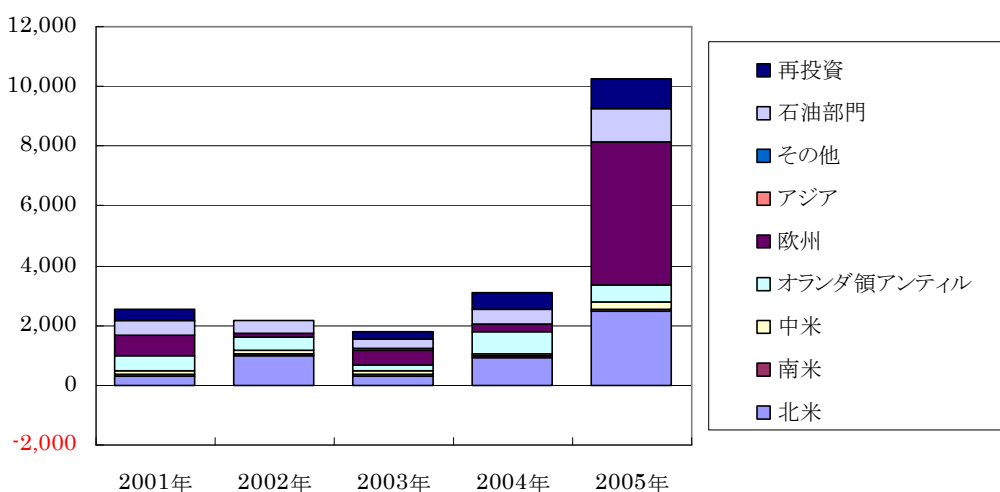
出所：UNCOMTRADE

3.2 アンデス4カ国の投資動向と経済連携政策

3.2.1 コロンビアの投資動向と経済連携

近年のコロンビアに対する海外直接投資動向を見ると、2005年に欧州から主として製造業セクターに投資がなされたのが顕著である。コロンビアについては、同国のFTA政策とそれによって期待される効果について、現地政府、産業団体等に対してアンケート・インタビュー調査を行った。その結果、同国にとって、FTAの効果として経済的效果が重視されており、その中で、FTA締結先からの海外直接投資の増加が強く期待されていることが分かった。コロンビアにとっては米国と欧州が主要な海外直接投資元となっており、これらの国とのFTA締結に取り組んでいることは、投資重視の姿勢を裏付けるものといえる。

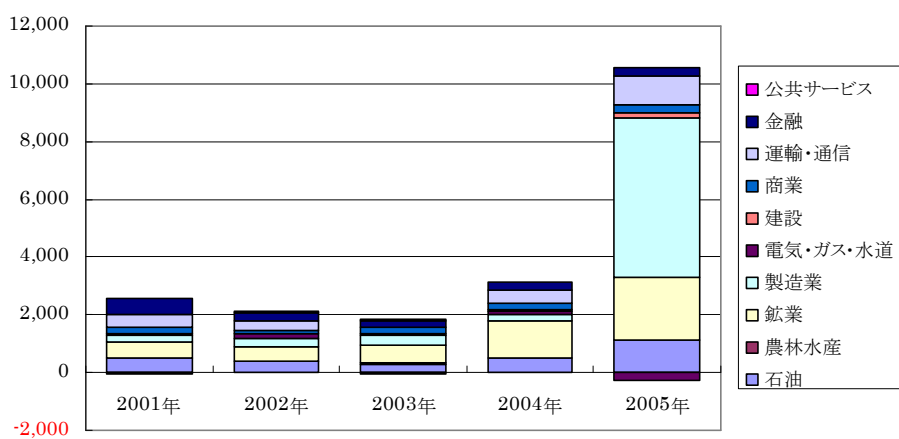
図表 3-21 コロンビアに対する海外直接投資：投資元別（単位：百万ドル）



原典：コロンビア中央銀行

出所：JETRO 貿易投資白書及びJETRO 白書投資編各年版より作成

図表 3-22 コロンビアに対する海外直接投資：分野元別（単位：百万ドル）



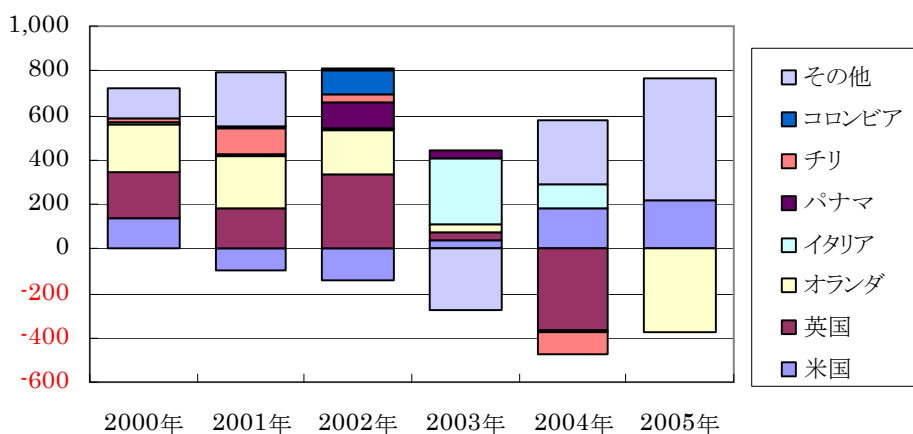
原典：コロンビア中央銀行

出所：JETRO 貿易投資白書及びJETRO 白書投資編各年版より作成

3.2.2 ペルーの投資動向と経済連携

近年のコロンビアに対する海外直接投資動向を見ると、欧州、米国から一定額の投資がコンスタントになされていることが分かる。また、コロンビア、チリなどの周辺国からの投資が見られる。

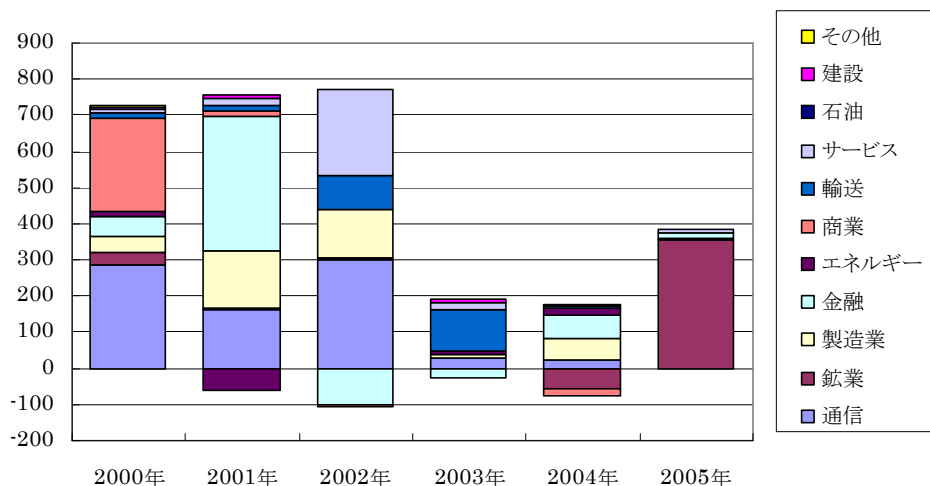
図表 3-23 ペルーに対する海外直接投資：投資元別（単位：百万ドル）



原典：ペルー投資促進庁

出所：JETRO 貿易投資白書及びJETRO 白書投資編各年版より作成

図表 3-24 ペルーに対する海外直接投資：分野元別（単位：百万ドル）



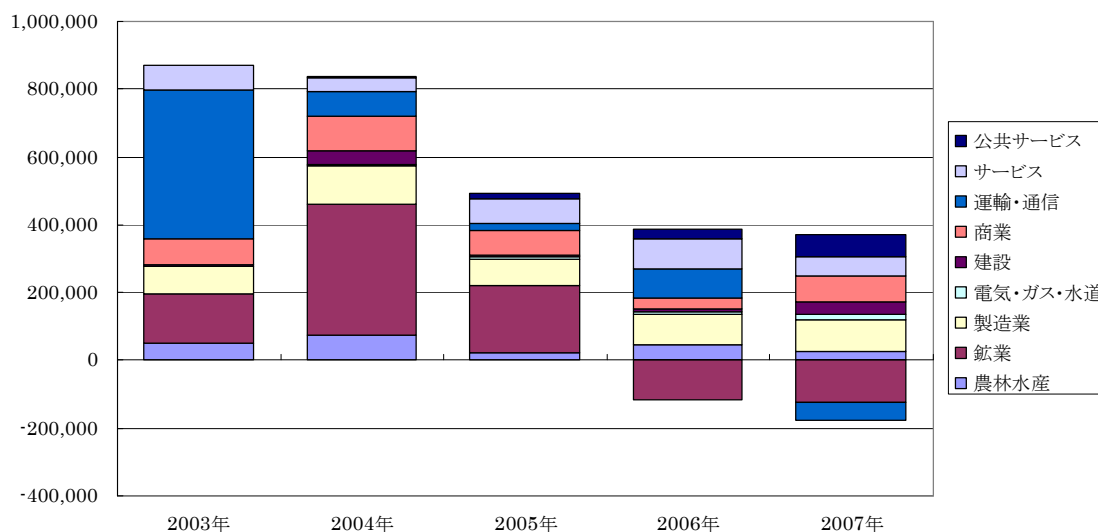
原典：ペルー投資促進庁

出所：JETRO 貿易投資白書及びJETRO 白書投資編各年版より作成

3.2.3 エクアドル、ボリビアの投資動向と経済連携

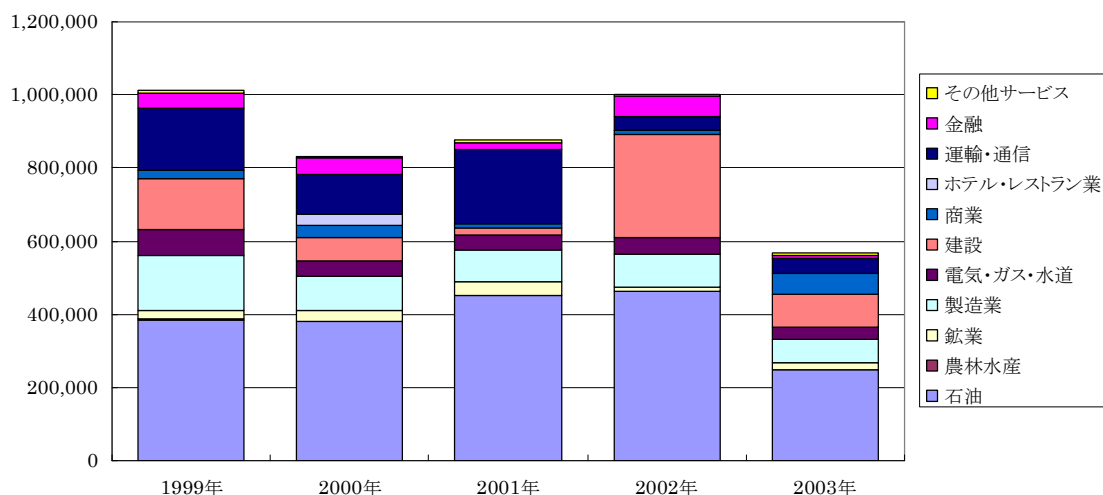
エクアドルは、2003年では8億ドルを超える投資を受け入れていたが、2005年以降低迷している。これは政権交代にともなう不透明性の高まりや投資認可の停滞が背景にあると思われる。ボリビアは、古いデータしか入手できていないが、1999年から2000年にかけては8億ドルから10億ドルの投資を受け入れていた。

図表 3-25 エクアドルに対する海外直接投資：分野元別（単位：千ドル）



出所：Banco Central del Ecuador

図表 3-26 ボリビアに対する海外直接投資：分野元別（単位：千ドル）



出所：Encuesta Interinstitucional entre el Instituto Nacional de Estadística

第4章 我が国がこれまで締結した経済連携協定がもたらす貿易・投資変化の動向、日系企業の活動状況の変化等からの評価

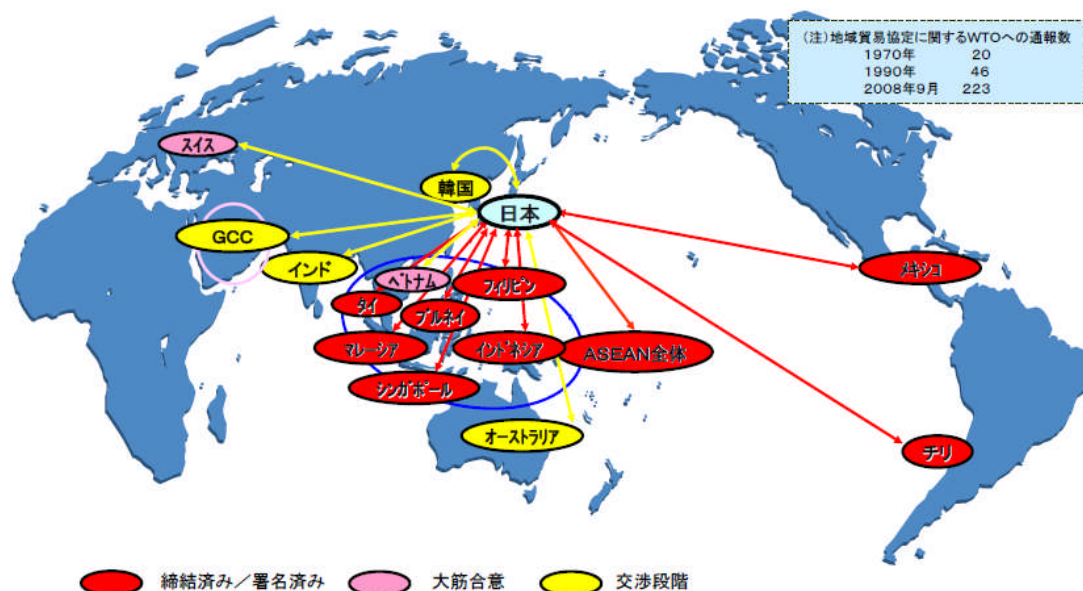
我が国は、経済連携協定の交渉相手国・地域の決定に関する基準として以下の大項目を定めている。

- ▶ 我が国にとり有益な国際環境の形成
- ▶ 我が国全体としての経済利益の確保
- ▶ 相手国・地域の状況、EPA/FTAの実現可能性

すなわち、我が国がアンデス諸国の一部または全部と EPA/FTA 交渉を行うか否かは、我が国がこれら諸国と FTA を締結することによって、有益な国際環境を形成できるかどうか、我が国にとっての経済利益が生じるかどうか、これら諸国との EPA/FTA の実現が現実的かどうかといった要素を勘案して判断しなければならない。

このような判断は、日本の EPA/FTA 締結数が少ない段階ではそれまでの貿易・投資動向や実体経済動向を踏まればよかったが、図表 4-1 に示すとおり日本と EPA/FTA を締結済みなしは交渉過程にある国・地域が拡大した現状では、これらの既存の EPA/FTA によって生じる貿易・投資の変化見通しや、これらの EPA/FTA との相乗効果を考慮する必要がある。

図表 4-1 日本の FTA の取組状況（2008 年 12 月現在）



出所：外務省経済局「日本の経済連携協定（EPA）交渉－現状と課題」（平成 20 年 12 月）

4.1 日本・コロンビア―第三国間の貿易・投資関係と EPA の効果予測

既に前章で見たとおり、コロンビアの主要貿易相手国先は、米国を中心とする NAFTA 圏が最大であり、それに EU、CAN が続く。また、コロンビアは米国との間で FTA を締結済みであり、近い将来の発効が期待される。このようなコロンビアの状況を踏まえると、日コロンビア EPA の締結により如何なる相乗効果が期待されるであろうか。

米国は、日本にとっても最大の貿易相手国の一つであり、日本企業にとっての最大の市場の一つである。現在、米国市場向けの商品は、米国で現地生産するか、近隣のメキシコで生産して輸出するケースが多い。コロンビアはメキシコを含む G3 の経済補完協定を有し、FTA にも取り組んでいる。そして、米国との FTA も発効すれば、これら米・メキシコ・コロンビアの貿易障壁はさらに低くなる。このような状況で、日本がコロンビアと EPA を締結すれば、日本企業にとっても、コロンビアとメキシコの水平分業により対米輸出を効率化できる可能性があるかもしれない。また、メキシコと同様に中南米諸国との EPA として日本はチリとの間で EPA を締結している。コロンビアとの EPA は、チリとの間での相乗効果が期待できる可能性もある。

4.2 日本・コロンビア EPA で期待される関税削減効果

EPA の締結可能性を検討するにあたっては当然のことながら、相手国との二国間関係において関税削減によるメリットがどの程度期待されるのかを検討する必要がある。本調査では、日・コロンビア間の輸出入について、2006 年から 2008 年の過去 3 年間、貿易額上位 10 品目について、EPA 締結によりどの程度関税が削減されるのかを検討した。

まず、日本からコロンビアの輸出を見た場合、上位 10 品目が全て自動車関連製品の輸出となっている(図表 4-2)。コロンビアにおける自動車関連製品の現在の MFN 関税率は 10% から 35% と高く、過去 3 年間、上位 10 品目だけでも、日本は平均して約 130 億円の関税をコロンビアに対して支払っていることが分かる。

一方、コロンビアから日本への輸入を見た場合、コーヒー関連製品の占めるシェアが大きく、他にはフェロニッケル、銅くずといった原材料類等の輸入が見られる(図表 4-3)。日本は関税を自由化している分野が多いが、フェロニッケルやインスタントコーヒー等の分野で関税が残っており、過去 3 年間、上位 10 品目で見て、コロンビアは平均して約 4 億 9,200 万円の関税を日本に対して支払っていることが分かる。

このように両国間の貿易を上位 10 品目だけで比較すると、関税削減効果は日本にとってよりメリットが大きいと言える。

図表 4-2 日本の対コロンビア輸出額、MFN 関税率と関税額（2006年-2008年）

2008年

順位	HSコード		輸出額 (単位:千円)	MFN 関税率	関税額 (単位:千円)
1	870422100	貨物運搬用自動車(総重量6.2トン以下)	9,224,367	15%	1,383,655
2	870323929	自家用自動車(シリンダー容量が1500cm3以上3000cm3未満)	5,979,453	35%	2,092,809
3	720918092	厚さ0.5mm以下の鉄製品(合金・非合金・幅が600mm以上・メッキ加工されていないもの)	5,715,013	10%	571,501
4	870600100	自家用自動車(HS8703)向けエンジンシャーシ	5,680,833	35%	1,988,292
5	870421100	貨物運搬用自動車(総重量4.537t以下)	5,157,992	35%	1,805,297
6	401194000	タイヤ(建設用重機に使用・外輪が61cmを超)	4,531,850	15%	679,778
7	870829000	天蓋(自動車専用部品・アクセサリ)	3,938,608	15%	590,791
8	870323100	自家用自動車(トレーラー・シリンダー容量1500cm3以上3000cm3未満)	3,924,692	35%	1,373,642
9	870333920	自家用自動車(その他)	3,518,026	35%	1,231,309
10	720839919	鉄鋼又は非合金のフラットロール製品で1.8mmを超えないもの	2,668,031	10%	266,803
上位10品目合計			50,338,865		11,983,877

2007年

順位	HSコード		輸出額 (単位:千円)	MFN 関税率	関税額 (単位:千円)
1	870323100	自家用自動車(トレーラー・シリンダー容量1500cm3以上3000cm3未満)	10,631,728	35%	3,721,105
2	870323929	自家用自動車(シリンダー容量が1500cm3以上3000cm3未満)	8,291,734	35%	2,902,107
3	870422100	貨物運搬用自動車(6.2トン以下)	8,020,597	15%	1,203,090
4	870829000	天蓋(自動車専用部品・アクセサリ)	7,068,703	15%	1,060,305
5	870421100	貨物運搬用自動車(総重量4.537t以下)	6,339,062	35%	2,218,672
6	870600100	自家用自動車(HS8703)向けエンジンシャーシ	5,161,735	35%	1,806,607
7	870422929	貨物運搬用自動車(9.3トン以下)	5,097,927	15%	764,689
8	401194000	タイヤ(建設用重機に使用・外輪が61cmを超)	4,894,453	15%	734,168
9	720918092	厚さ0.5mm以下の鉄製品(合金・非合金・幅が600mm以上・メッキ加工されていないもの)	4,854,617	10%	485,462
10	720839919	鉄鋼又は非合金のフラットロール製品で1.8mmを超えないもの	4,278,516	10%	427,852
上位10品目合計			64,639,072		15,324,056

2006年

順位	HSコード		輸出額 (単位:千円)	MFN 関税率	関税額 (単位:千円)
1	870323100	自家用自動車(トレーラー・シリンダー容量1500cm3以上3000cm3未満)	8,411,047	35%	2,943,866
2	870422100	貨物運搬用自動車(6.2トン以下)	5,351,258	15%	802,689
3	870829000	天蓋(自動車専用部品・アクセサリ)	5,249,447	15%	787,417
4	870600100	自家用自動車(HS8703)向けエンジンシャーシ	5,233,004	35%	1,831,551
5	870323929	シリンダー容量が1500cm3以上3000cm3未満の自家用自動車	4,846,181	35%	1,696,163
6	870421100	貨物運搬用自動車(総重量4.537t以下)	4,685,433	35%	1,639,902
7	720918092	厚さ0.5mm以下の鉄製品(合金・非合金・幅が600mm以上・メッキ加工されていないもの)	3,526,370	10%	352,637
8	870422929	貨物運搬用自動車(9.3トン以下)	3,503,528	15%	525,529
9	840734900	天然ガス使用インターナル・コンバッション・エンジン	2,960,837	10%	296,084
10	870324100	自家用自動車(トレーラー・シリンダー容量3000cm3以上)	2,933,375	35%	1,026,681
上位10品目合計			46,700,480		11,902,520

緑字 =2006年以降継続して10位以内の製品
青字 =2007年以降継続して10位以内の製品
赤字 =2008年に10位以内の製品

出所：輸出額＝財務省貿易統計、MFN 関税率＝World Tariff Online、関税額＝輸出額と MFN 関税率より三菱総研が算出

図表 4-3 日本の対コロンビア輸入額、MFN 関税率と関税額（2006年-2008年）

2008年

順位	HSコード		輸入額 (単位:千円)	MFN 関税率	関税額 (単位:千円)
1	090111000	コーヒー(コーヒー豆の外皮も含・ロースト加工無し・カフェイン含)	28,896,911	0%	0
2	060312000	カーネーション(ドライ加工無し・切花・蕾を含む)	3,969,263	0%	0
3	720260010	フェロニッケル(ニッケル含有量が33%以下)	3,311,893	3.30%	109,292
4	720260090	フェロニッケル(その他)	2,928,615	3.30%	96,644
5	210111210	インスタントコーヒー	1,657,089	8.80%	145,824
6	060390000	ドライ加工無しの切花・蕾(その他)	1,298,698	0%	0
7	090121000	コーヒー(コーヒー豆の外皮も含・ロースト加工有り・カフェイン含)	762,591	12%	91,511
8	270112019	瀝青炭(乾燥状態重量の8%以上の灰を含まないもの)	747,628	0%	0
9	740400010	銅くず(非合金)	747,533	0%	0
10	710391000	ルビー・サファイア・エメラルド	599,741	0%	0
上位10品目合計			44,919,962		443,272

2007年

順位	HSコード		輸入額 (単位:千円)	MFN 関税	関税額 (単位:千円)
1	090111000	コーヒー(コーヒー豆の外皮も含・ロースト加工無し・カフェイン含)	24,639,444	0%	0
2	720260090	フェロニッケル(その他)	13,663,464	3.30%	450,894
3	060312000	カーネーション(ドライ加工無し・切花・蕾を含む)	3,788,925	0%	0
4	720260010	フェロニッケル(ニッケル含有量が33%以下)	1,385,977	3.30%	45,737
5	210111210	インスタントコーヒー	1,219,769	8.80%	107,340
6	060390000	ドライ加工無しの切花・蕾(その他)	1,090,387	0%	0
7	710391000	ルビー・サファイア・エメラルド	775,341	0%	0
8	210111290	コーヒー・エッセンス(その他)	437,536	15%	65,630
9	270112099	瀝青炭(乾燥状態重量の8%以上の灰を含まないもの)	348,926	0%	0
10	480300000	紙製品(衛生用品として使用するもの・加工非加工を問わず)	279,406	0%	0
上位10品目合計			47,629,175		669,602

2006年

順位	HSコード		輸入額 (単位:千円)	MFN 関税	関税額 (単位:千円)
1	090111000	コーヒー(コーヒー豆の外皮も含・ロースト加工無し・カフェイン含)	26,035,432	0%	0
2	720260090	フェロニッケル(その他)	5,009,888	3.30%	165,326
3	060310050	ドライ加工無しの切花・蕾	3,362,584	0%	0
4	210111210	インスタントコーヒー	1,375,951	8.80%	121,084
5	710391000	ルビー・サファイア・エメラルド	1,044,522	0%	0
6	060390000	ドライ加工無しの切花・蕾(その他)	885,308	0%	0
7	260300000	銅(原石・凝縮物)	739,070	0%	0
8	210111290	コーヒー・エッセンス(その他)	505,158	15%	75,774
9	270112019	瀝青炭(乾燥状態重量の8%以上の灰を含まないもの)	278,573	0%	0
10	030110020	観賞用水産物その他(魚類・甲殻類・軟体動物)	195,649	1.70%	3,326
上位10品目合計			39,432,135		365,510

緑字 =2006年以降継続して10位以内の製品
青字 =2007年以降継続して10位以内の製品
赤字 =2008年に10位以内の製品

出所：輸出額＝財務省貿易統計、MFN 関税率＝World Tariff Online、関税額＝輸出額と MFN 関税率より三菱総研が算出

4.3 日系企業の活動状況と EPA への期待

日系企業の見解については、JETRO が毎年実施している「在中南米日系進出企業の経営実態調査」の第 9 回分（2008 年 12 月発行）において、在コロンビアと在ペルーの日系企業に対して EPA/FTA に関する考え方を調査していることから、この結果を活用することとした。

同調査では、既に日本との経済連携協定（EPA）が発効しているメキシコ、チリを除く中南米進出企業に対して、日本との自由貿易協定（FTA）・経済連携協定（EPA）があった場合の事業活動上のメリットの有無を聞いている。この質問による回答を見ると、「メリットあり」との回答が 69.7%（106 社）あった。「メリットあり」の回答率が高いのはベネズエラ（90.9%）、アルゼンチン（90.0%）、ペルー（88.9%）、コロンビア（83.3%）であった。すなわち、アンデス諸国の中では、ペルー、コロンビアについて日本との FTA/EPA のメリットが強く感じられている。

FTA/EPA が発効した場合に効果を期待する項目については、「労働・法制度・税関手続きなどビジネス環境の改善」が 72.5%（103 社）と最も高い回答率を記録した。このビジネス環境改善については、ペルーでは 72.2%（13 社）が、コロンビアでは、36.4%（4 社）が期待する項目として回答をした。なお、コロンビアと、ペルーでは「関税の撤廃」を求める回答がもっとも多く、コロンビアで 90.9%、ペルーで 77.8%であった。

4.4 日本との EPA に対するコロンビア政府・産業界の期待

本調査では、コロンビアの FTA 政策に関する姿勢を確認するとともに、日本との EPA に対する期待を把握することを目的として、コロンビアの政府、産業界等に対してアンケート・インタビュー調査を行った。その結果概要をまとめたのが図表 4-4 である。

この図表を見て分かるとおり、コロンビアは官民あげて FTA の推進を積極的に支持しており、特に貿易・投資促進という経済的利益を重視しながら、締結相手先を選定し、交渉を進めていることが分かる。

コロンビアは既に米国との交渉を了し、EU との交渉に取り組んでいる。そのような中で、同国の政府・産業界として、日本との経済関係強化のために日本との EPA の締結を強く望んでいることが分かった。

図表 4-4 コロンビア政府・民間関係機関に対するアンケート・インタビュー結果の概要¹⁸

	コロンビア商工観光省 (Ministry of Trade, Industry and Tourism)	コロンビア貿易投資 促進庁 (Proexport)	コロンビア全国 工業連盟 (ANDI)	コロンビア・コーヒー 生産者連盟 (FNC)	コロンビア競争力 民間会議 (COMPITE)	コロンビア高等教育・ 開発基金 (FEDESARROLLO)
1. FTA に対するコロンビアの立場						
(1)通商・外交政策 上の FTA の重要性	とても重要	—	とても重要	とても重要	とても重要	とても重要
	FTA はトッププライオリティ。FTA により投資環境改善、生産構造改革、経済国際化を図る。	—	—	現政権にとり FTA はトッププライオリティだが、歴史的には紆余曲折あった。	CAN が期待通り機能していないため、FTA は極めて重要な政策である。	現政権にとり FTA はトッププライオリティだが、歴代政権によっては異なる見方を持っていた。
(2)他の措置(輸出信用、補助金、規制改革等)と比較し FTA の重要性	FTA は重要だが、他の措置も同じくらい重要	—	FTA は重要だが、他の措置も同じくらい重要	FTA は通商政策の中で最も重要	FTA は重要だが、他の措置も同じくらい重要 イノベーション促進、インフラへの投資、競争力強化のための規制	FTA は重要だが、他の措置も同じくらい重要
	国際競争力強化のためにあらゆる措置が重要。	—	—	FTA は最も重要な政策である。	イノベーション促進、インフラ整備、競争強化のための規制改革等も重要	—
(3)FTA 締結先選定にあたっての判断基準	従来の貿易額の大きい国 直接投資元として期待される国 歴史的な政治・文化関係の強い国	—	従来の貿易額の大きい国 直接投資元として期待される国 歴史的な政治・文化関係の強い国	従来の貿易額の大きい国 (1番) 歴史的な政治・文化関係の強い国 (2番) 直接投資元として期待される国 (3番)	従来の貿易額の大きい国 直接投資元として期待される国 歴史的な政治・文化関係の強い国	従来の貿易額の大きい国 直接投資元として期待される国 コロンビアの政治的利益となること、相手国の締結意思
	政府として優先締結先のリストを作成。	—	—	—	独自調査の結果、米国、EU、中米、カナダ、日本が優先候補として挙げられた。	相手国のコロンビアの貿易パートナーとなることへの意思が最も重要な基準
2. FTA の目的と評価						
(1)政治的目的	FTA 締結国との外交関係向上 第三国・地域に対する外交レバレッジ強化 政治的関係の向上、長期的関係の構築	—	FTA 締結国との外交関係向上	—	政治的関係の向上、長期的関係の構築	新たな地域でコロンビアの知名度向上
	全ての FTA には政治的目的がともなう	—	—	—	全ての FTA は政治的目的を持つがコロンビアにとって FTA の主目的は経済的なもの。	—

¹⁸ 詳細は巻末資料参照。

(2)経済的目的	FTA 締結国との貿易・投資促進 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	—	FTA 締結国との貿易・投資促進 第三国・地域に対する輸出競争力促進	FTA 締結国との貿易・投資促進 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	FTA 締結国との貿易・投資促進 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	FTA 締結国との貿易・投資促進 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致
	FTA 締結の主目的は経済的目的	—	—	FTA の主目的は貿易・投資促進という経済的目的であると考えている。	FTA の主目的は経済的目的。	FTA の主要目的は経済的目的であると考えている。
(3)その他の目的	文化的関係強化 知財の規制	—	文化的関係強化	麻薬生産縮小	—	環境問題への対応
	—	—	—	—	政治・経済以外の目的は無いと思っている。	—
3. 特定の国・地域との FTA						
(1-a)米コロンビア FTA の政治的目的	米国と同等の政治レベルでもって長期的関係を築くこと	—	米国との外交関係の強化	—	米国と同等の政治レベルでもって長期的関係を築くこと	米国と長期的関係を築くこと
(1-b) 米コロンビア FTA の経済的目的	米国への輸出促進 米国からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致 サービスの供給に関する項目が FTA で加わり ATPDEA からの重要な改善点である	—	米国への輸出促進 米国からの投資誘致	米国への輸出促進 米国からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	米国への輸出促進 米国からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	米国への輸出促進 米国からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致 米国への輸出を目的とした企業の進出（他国からの投資）
(1-c)米コロンビア FTA のその他の目的	文化的関係強化 知財規制、麻薬売買生産縮小、テロ対策	—	—	麻薬売買生産縮小、テロ対策	—	麻薬売買生産縮小、テロ対策
(1-d)米コロンビア FTA に関するその他コメント	米コロンビア FTA は、従来の ATPA、ATPDEA の関係を対等なものにするもの	—	米コロンビア FTA はコロンビアにとり極めて重要。主たる目的は経済的目的。	米コロンビア FTA の主目的は経済的目的。	米コロンビア FTA は両国の政治的関係を対等なものにした。	米コロンビア FTA の主目的は米国との貿易・投資関係強化とコロンビアの競争力向上
(2-a)EU コロンビア FTA の政治的目的	EU と同等の政治レベルでもって長期的関係を築くこと	—	EU との外交関係の強化	—	ヨーロッパにおけるコロンビアのイメージ改善	EU と長期的関係を築くこと、イメージ改善、コロンビア革命軍に対する支援と戦うこと
(2-b) EU コロンビア FTA の経済的目的	EU への輸出促進 EU からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致 サービスの供給に関する項目は今後交渉	—	EU への輸出促進 EU からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	EU への輸出促進 EU からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	EU への輸出促進 EU からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	EU への輸出促進 EU からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致

(2-c) EU コロンビア FTA のその他の目的	協力プログラム、開発支援	—	文化的関係強化	—	—	—
(2-d) EU コロンビア FTA に関するその他コメント	2009 年中には交渉妥結、2010 年発効を目指している。		EU との FTA の主目的は経済的目的。貿易・投資の改善。	EU コロンビア FTA の主目的は経済的目的。	EU との FTA の主目的は経済的目的である。	EU との FTA の主目的は経済的なもので、貿易・投資関係強化を期待
4. 日コロンビア FTA への期待						
(1) 政治的効果	—	—	日本との外交関係の強化	—	コロンビアのアジアでの地位改善	アジアにおけるコロンビアの知名度向上
(2) 経済的効果	日本への輸出促進 日本からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	日本への輸出促進 日本からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致 観光	日本への輸出促進 日本からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	日本への輸出促進 日本からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	日本への輸出促進 日本からの投資誘致 第三国・地域に対する輸出競争力促進 第三国・地域からの投資誘致	日本からの投資誘致
(3) その他の効果	文化的関係強化 協力、支援	—	—	—	—	協力
(4) コメント	日コロンビア EPA が 2 年以内に締結されることを期待。また、二重課税防止協定と投資協定の交渉を望む。	—	日コロンビアの FTA に期待するのは両国の経済関係強化。アジア太平洋におけるコロンビアの政治的立場の強化という目的もある。	日コロンビア EPA は、日本という大きなマーケットへのアクセスを得るコロンビアにとって大きな機会である。	日コロンビア EPA の主目的は両国間の経済関係改善。両国経済は相互補完関係にあり、EPA は双方にとってメリット。	日コロンビア EPA により日本からの投資が拡大することを期待
5. FTA 政策への世論の支持						
	世論の過半数が FTA を支持。国民の 6 割が FTA を利益あるものと考えている。	—	—	世論の大多数が FTA を支持。FTA は雇用創出、福祉改善につながると考えられている。	全国民の 50% が FTA は利益のあるものと考えている。30% だけが反対している。	国民の過半数が FTA を支持している。

卷末資料

Survey on Colombia's FTA policy

Mitsubishi Research Institute, Inc.

1. Colombia's position on FTAs

- How do you see the importance of FTAs as Colombia's trade and foreign policy?
Please select only one from below.
 - 1) Very important
 - 2) Important
 - 3) Fair
 - 4) Not important

- Do you think FTAs are more important than or as important as other measures for economic and export development such as financing schemes, subsidies, regulatory reforms, etc.? Please select only one from below.
 - 1) FTAs are most important among other policy measures
 - 2) FTAs are important, but other measures are as important as FTAs
 - 3) FTAs are important, but other measures are more important than FTAs
 - 4) Other (please specify:)

- What have been the most important criteria when selecting candidate for Colombia's FTA partners? Please choose one or more answers from below.
 - 1) Countries with currently large trade volume
 - 2) Countries that are expected to increase investment in your country
 - 3) Countries that have historically strong political and cultural ties
 - 4) Other (please specify:)

2. Purposes and evaluation of Colombia's FTAs

- What have been the major purposes of FTAs for Colombia?
Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.
 - ✓ Political purposes
 - 1) Improving diplomatic relations with FTA partners
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic purposes

1) Promoting trade and investment between the FTA partners

2) Strengthening export competitiveness towards the outside regions

3) Attracting more investment from the outside regions

4) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with the FTA partners

2) Other (please specify:)

3. FTAs with some specific partners

(1) FTA with the US

- What have been the major purposes for concluding an FTA with the US?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

1) Improving diplomatic relations with the US

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic purposes

1) Promoting export to the US

2) Attracting more investment from the US

3) Strengthening export competitiveness towards the outside regions

4) Attracting more investment from the outside regions

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with the US

2) Other (please specify:)

specify:)

(2) FTA with EU

● What are the major purposes for negotiating an FTA with EU

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

1) Improving diplomatic relations with EU

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic purposes

1) Promoting export to EU

2) Attracting more investment from EU

3) Strengthening export competitiveness towards the outside regions

4) Attracting more investment from the outside regions

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with Chile

2) Other (please specify:)

4. Expectations for Japan-Colombia Economic Partnership Agreement (EPA)

(1) What do you expect most from Japan-Colombia EPA?

Please choose one or more answers specified below. You may choose as many answers as you want.

✓ Political effects

1) Improving diplomatic relations with Japan

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic effects

- 1) Promoting export to Japan
- 2) Promoting investment from Japan
- 3) Strengthening export competitiveness towards the outside regions
- 4) Attracting more investment from the outside regions
- 5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

- 1) Strengthening cultural ties with Japan
- 2) Other (please specify:)

1. コロンビア商工観光省

1. Colombia's position on FTAs

- How do you see the importance of FTAs as Colombia's trade and foreign policy?
Please select only one from below.

1) **Very important**

2) Important

3) Fair

4) Not important

Comments. FTAs are a top priority for the government of Colombia nowadays. The government has a policy with three different main points:

- *To create a political and social atmosphere of confidence to investors,*
- *To transform the production structure of Colombia economy (modernization and competitiveness)*
- *To internationalize Colombia's economy.*

All these points are connected and interrelated. But FTAs are a very important policy to create confidence to investors and boost competitiveness of Colombia's economy.

- Do you think FTAs are more important than or as important as other measures for economic and export development such as financing schemes, subsidies, regulatory reforms, etc.? Please select only one from below.

1) FTAs are most important among other policy measures

2) **FTAs are important, but other measures are as important as FTAs**

3) FTAs are important, but other measures are more important than FTAs

4) Other (please specify:)

Comments. It is difficult to answer this point. We think that the most important aspect is to create an internationally competitive economy, in order to have this kind of economy, it is necessary to reform some regulations and laws, however, many times we reform these regulations because of a FTA. Again all these points are very well connected and it is difficult to put some of them apart from the others.

- What have been the most important criteria when selecting candidate for

Colombia's FTA partners? Please choose one or more answers from below.

- 1) **Countries with currently large trade volume**
- 2) **Countries that are expected to increase investment in your country**
- 3) **Countries that have historically strong political and cultural ties**
- 4) Other (please specify:)

Comments. Colombian government set up an Agenda of Commercial Agreements in 2004. In this Agenda, the criteria to be a commercial partner of Colombia was analyzed, and a list of candidates was elaborated. The used criteria were all the aspects that the answers above mentioned.

2. Purposes and evaluation of Colombia's FTAs

- What have been the major purposes of FTAs for Colombia?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

- 1) **Improving diplomatic relations with FTA partners**
- 2) **Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries**
- 3) **Other (please specify: Improve political connections, established long term relations.**

Comments. All the FTAs got a political purpose, the government of Uribe has been fighting to put Colombia in the "political map of the world", this is to say, he wants the other states to think of Colombia not just as a drug producer country, but a modern state with a modern economy and a modern society.

✓ Economic purposes

- 1) **Promoting trade and investment between the FTA partners**
- 2) **Strengthening export competitiveness towards the outside regions**
- 3) **Attracting more investment from the outside regions**
- 4) Other (please specify:)

Comments. We consider that the main purpose of the Colombian FTAs is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...

✓ Other purposes

- 1) *Strengthening cultural ties with the FTA partners*
- 2) *Other (please specify: Intellectual property regulations)*

3. FTAs with some specific partners

(1) FTA with the US

- What have been the major purposes for concluding an FTA with the US?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

- 1) Improving diplomatic relations with the US
- 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
- 3) *Other (please specify: to establish a long term relation with the USA in the same political level, SEE COMMENTS BELOW)*

✓ Economic purposes

- 1) *Promoting export to the US*
- 2) *Attracting more investment from the US*
- 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
- 4) *Attracting more investment from the outside regions*
- 5) *Other (please specify: a chapter of economic services provision (such as consulting, human resources...) was included in the FTA, this is a very important improvement compare to the former ATPDEA)*

✓ Other purposes

- 1) *Strengthening cultural ties with the US*
- 2) *Other (please specify: Intellectual property regulations, Drug traffic, drug crop reduction, terrorism,)*

Comments. Politically speaking, the FTA between USA and Colombia is a great improvement of the ATPA and ATPDEA¹⁹, because is established under conditions

¹⁹ On December 4, 1991, under the George H. W. Bush administration, the United States enacted the Andean Trade Preference Act (ATPA), eliminating tariffs on a number of products from Bolivia, Colombia, Ecuador, and Peru. Its objective was the strengthening of legal industries in these countries as alternatives to drug production and trafficking. [The program was renewed on October 31, 2002 by the George W. Bush administration as the Andean Trade Promotion and Drug Eradication Act (ATPDEA). Under the renewed act, Andean products exempted from tariffs increased from around 5,600 to some 6,300. ATPDEA was set to expire on December 31, 2006 but was renewed by Congress for six months, up to June 30, 2007. A further extension was granted on June 28, 2007, this time for

where USA and Colombia are in the same political level. Basically the ATPDEA is a system granted by the USA that was set up under the conditions imposed by the USA; the FTA is an agreement between two states in the same political level..

However, we think that the main purpose of this agreement is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...

(2) FTA with EU

● What are the major purposes for negotiating an FTA with EU

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

- 1) Improving diplomatic relations with EU
- 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
- 3) *Other (please specify: **to establish a long term relation with the EU in the same political level**)*

✓ Economic purposes

- 1) *Promoting export to EU*
- 2) *Attracting more investment from EU*
- 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
- 4) *Attracting more investment from the outside regions*
- 5) *Other (please specify: **a chapter of economic services provision (such as consulting, human resources...) is to be negotiated**)*

✓ Other purposes

- 1) Strengthening cultural ties with Chile
- 2) *Other (please specify: **cooperation programs, development aid,**)*

Comments. The negotiations of this Agreement are expected to be concluded during this year, hopefully in October, in 2010 will be enacted.

The main purpose of this FTA is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...

eight months, up to February 29, 2008. The US Congress passed a third renewal for ten months on February 28, 2008, up to December 31, 2008. On November 2008, US President George W. Bush asked Congress to remove Bolivia from the agreement due to failure to cooperate in counternarcotics efforts. (Wikipedia)

4. Expectations for Japan-Colombia Economic Partnership Agreement (EPA)

(1) What do you expect most from Japan-Colombia EPA?

Please choose one or more answers specified below. You may choose as many answers as you want.

✓ Political effects

- 1) Improving diplomatic relations with Japan
- 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
- 3) Other (please specify:)

✓ Economic effects

- 1) *Promoting export to Japan*
- 2) *Promoting investment from Japan*
- 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
- 4) *Attracting more investment from the outside regions*
- 5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

- 1) *Strengthening cultural ties with Japan*
- 2) *Other (please specify: cooperation, aid)*

Comments. The EPA, between Japan and Colombia, is still in a very early stage. However, Colombia hopes that this Agreement could be finalized in 2 years time. Before the EPA is concluded, two very important agreements should be negotiated: a Double Taxation Agreement and an agreement to protect and foster investments. When these two agreements were concluded, the EPA will easily be approved.

OTHER QUESTIONS.

Opposition in Colombia to FTAs.

Comments. In Colombia the great majority of the population is in favor of FTAs as a good policy to create employment and assure welfare. Santiago Pardo did not have the last survey on the subject, however he consider that nowadays a 60% of the population of Colombia consider FTAs as beneficial.

2. コロンビア貿易投資促進庁 (Proexport)

PROEXPORT refused to answer any question related to commercial policies (that should be answered by the Ministry of Commerce), the only question that answered, was the last one related to the expectations of the EPA with Japan.

4. Expectations for Japan-Colombia Economic Partnership Agreement (EPA)

(1) What do you expect most from Japan-Colombia EPA?

Please choose one or more answers specified below. You may choose as many answers as you want.

✓ Political effects

- 1) Improving diplomatic relations with Japan
- 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
- 3) Other (please specify: _____)

✓ Economic effects

- 1) *Promoting export to Japan*
- 2) *Promoting investment from Japan*
- 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
- 4) *Attracting more investment from the outside regions*
- 5) *Other (please specify: **tourism** _____)*

✓ Other purposes

- 1) Strengthening cultural ties with Japan
- 2) Other (please specify: _____)

Comments. *The main purpose of this future agreement is to improve the economical relations between Colombia and Japan. For Proexport the main expectations of this EPA are: promoting non traditional exports to Japan, promoting Japanese investment in Colombia, and promoting Japanese tourism in Colombia.*

3. コロンビア全国工業連盟 (ANDI: Asociación Nacional de Empresarios de Colombia)

1. Colombia's position on FTAs

- How do you see the importance of FTAs as Colombia's trade and foreign policy?
Please select only one from below.

1) **Very important**

2) Important

3) Fair

4) Not important

- Do you think FTAs are more important than or as important as other measures for economic and export development such as financing schemes, subsidies, regulatory reforms, etc.? Please select only one from below.

1) FTAs are most important among other policy measures

2) **FTAs are important, but other measures are as important as FTAs**

3) FTAs are important, but other measures are more important than FTAs

4) Other (please specify:)

- What have been the most important criteria when selecting candidate for Colombia's FTA partners? Please choose one or more answers from below.

1) **Countries with currently large trade volume**

2) **Countries that are expected to increase investment in your Colombia**

3) **Countries that have historically strong political and cultural ties**

4) Other (please specify:)

2. Purposes and evaluation of Colombia's FTAs

- What have been the major purposes of FTAs for Colombia?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

1) **Improving diplomatic relations with FTA partners**

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic purposes

1) **Promoting trade and investment between the FTA partners**

2) **Strengthening export competitiveness towards the outside regions**

- 3) Attracting more investment from the outside regions
- 4) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with the FTA partners

2) Other (please specify:)

3. FTAs with some specific partners

(1) FTA with the US

- What have been the major purposes for concluding an FTA with the US?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

1) Improving diplomatic relations with the US

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic purposes

1) Promoting export to the US

2) Attracting more investment from the US

3) Strengthening export competitiveness towards the outside regions

4) Attracting more investment from the outside regions

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with the US

2) Other (please specify:)

Comments. *This FTA is very important to Colombia, the main purpose of this FTA for Colombia is economical, with this FTA the relation between USA and Colombia takes a new step surpassing the “old” points (drugs, security).*

(2) FTA with EU

- What are the major purposes for negotiating an FTA with EU

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many

purposes as you want.

✓ Political purposes

1) ***Improving diplomatic relations with EU***

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic purposes

1) ***Promoting export to EU***

2) ***Attracting more investment from EU***

3) ***Strengthening export competitiveness towards the outside regions***

4) ***Attracting more investment from the outside regions***

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) ***Strengthening cultural ties with Chile***

2) Other (please specify:)

Comments. *The main purpose of this FTA is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...with this FTA the relation between EU and Colombia takes a new step surpassing the “old” points (drugs, security).*

4. Expectations for Japan-Colombia Economic Partnership Agreement (EPA)

(1) What do you expect most from Japan-Colombia EPA?

Please choose one or more answers specified below. You may choose as many answers as you want.

✓ Political effects

1) ***Improving diplomatic relations with Japan***

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic effects

1) ***Promoting export to Japan***

2) ***Promoting investment from Japan***

3) ***Strengthening export competitiveness towards the outside regions***

4) ***Attracting more investment from the outside regions***

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with Japan

2) Other (please specify:)

***Comments.** The main purpose of this future agreement is to improve the economical relations between Colombia and Japan. However there are some political aspects that could not be denied, such as, the desire of Colombia of improving its political position in Asia and the Pacific region.*

4. コロンビア・コーヒー生産者連盟 (FNC: Federacion Nacional de Cafeteros de Colombia)

1. Colombia's position on FTAs

- How do you see the importance of FTAs as Colombia's trade and foreign policy? Please select only one from below.

1) **Very important**

2) Important

3) Fair

4) Not important

Comments. FTAs are a top priority for the government of Colombia nowadays. However, historically speaking there has been a changeable point of view towards FTAs from the Colombian government.

✓ *President Gaviria in the 90s was very active promoting FT in Colombia.*

✓ *The president Samper in 1994 gave a big turn to these FT promoting policies, coming back to former protectionism.*

✓ *In 1998, the new president Pastrana tried to promote some measures to foster FT in Colombia; however, the complicated political situation in Colombia did not allow the implementation of any important change.*

✓ *From 2002, to nowadays, (with Uribe in power), FTAs are a top priority for the government of Colombia. Today, the FTAs are become of great importance, for the interviewee this is because some multilateral treaties (Andean Community, for example) did not work as expected, so the government decided to promote bilateral treaties of Free Trade.*

- Do you think FTAs are more important than or as important as other measures for economic and export development such as financing schemes, subsidies, regulatory reforms, etc.? Please select only one from below.

1) **FTAs are most important among other policy measures**

2) FTAs are important, but other measures are as important as FTAs

3) FTAs are important, but other measures are more important than FTAs

4) Other (please specify:)

Comments. FTAs are the most important policies, because thanks to FTAs a bunch of other measures have to be implemented, FTAs trigger different policies and regulations: from quality assurance regulations, to human resources or, even,

human rights.

- What have been the most important criteria when selecting candidates for Colombia's FTA partners? Please choose one or more answers from below.
 - 1) ***Countries with currently large trade volume (most important)***
 - 2) ***Countries that are expected to increase investment in your country (3rd)***
 - 3) ***Countries that have historically strong political and cultural ties (second in importance)***
 - 4) Other (please specify:)

2. Purposes and evaluation of Colombia's FTAs

- What have been the major purposes of FTAs for Colombia?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

 - ✓ Political purposes
 - 1) Improving diplomatic relations with FTA partners
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
 - 3) Other (please specify:).

 - ✓ Economic purposes
 - 1) ***Promoting trade and investment between the FTA partners***
 - 2) ***Strengthening export competitiveness towards the outside regions***
 - 3) ***Attracting more investment from the outside regions***
 - 4) Other (please specify:)

 - ✓ Other purposes
 - 1) Strengthening cultural ties with the FTA partners
 - 2) ***Other (please specify: **drug crops reduction**)***

Comments. *“Café de Colombia” considers that, generally speaking, the main and only purpose of Colombian FTAs is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...*

There is one aspect of great importance for “Café de Colombia”, FTAs can create the stability and markets for farmers, so they may change their crops from drugs to legal products. This aspect is of great importance.

3. FTAs with some specific partners

(1) FTA with the US

- What have been the major purposes for concluding an FTA with the US?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

- 1) Improving diplomatic relations with the US
- 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
- 3) Other (please specify:)

✓ Economic purposes

- 1) *Promoting export to the US (40 % of Colombian exports go to USA).*
- 2) *Attracting more investment from the US*
- 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
- 4) *Attracting more investment from the outside regions*
- 5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

- 1) Strengthening cultural ties with the US
- 2) *Other (please specify: **Drug traffic, drug crop reduction, terrorism,**)*

***Comments.** The main purpose of this agreement is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade... There are some political considerations, such as, drug traffic prevention, drugs crop reduction and terrorism.*

The agreement with the USA took a long time to be negotiated; even the Congress of the USA has not approved the treaty yet. However, according to the interviewee this is because Colombia got a lot of different advantages in this treaty, Colombian negotiators did their best and the FTA with USA set up a very good frame of business for Colombian enterprises.

(2) FTA with EU

- What are the major purposes for negotiating an FTA with EU

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

- 1) Improving diplomatic relations with EU
- 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) *Other (please specify: to change the image of Colombia in Europe)*

✓ Economic purposes

1) *Promoting export to EU*

2) *Attracting more investment from EU*

3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*

4) *Attracting more investment from the outside regions*

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with Chile

2) Other (please specify:)

Comments. The main purpose of this FTA is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade... However, in the case of Europe, there are strong political implications for the government of Colombia: to change the bad image of Colombia in Europe.

4. Expectations for Japan-Colombia Economic Partnership Agreement (EPA)

(1) What do you expect most from Japan-Colombia EPA?

Please choose one or more answers specified below. You may choose as many answers as you want.

✓ Political effects

1) Improving diplomatic relations with Japan

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) Other (please specify:)

✓ Economic effects

1) *Promoting export to Japan*

2) *Promoting investment from Japan*

3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*

4) *Attracting more investment from the outside regions*

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

- 1) Strengthening cultural ties with Japan
- 2) Other (please specify: _____)

Comments. To the interviewee the EPA with Japan will be a great opportunity to Colombian products, access to a market of the size and richness of Japan is something of great interest to “Café de Colombia”.

OTHER QUESTIONS.

Opposition in Colombia to FTAs.

Comments. According to the interviewee today in Colombia the great majority of the population is in favor of FTAs as a good policy to create employment and assure welfare. However, when the FTA negotiations with the USA started the opposition was immense, but the advantageous FTA negotiated by Colombia and the mass media campaign set up by the government to promote FTAs have changed the image of the FTAs in Colombians.

5. コロンビア競争力民間会議 (COMPITE: Consejo Privado de Competitividad Colombia)

1. Colombia's position on FTAs

- How do you see the importance of FTAs as Colombia's trade and foreign policy? Please select only one from below.

- 1) **Very important**
- 2) Important
- 3) Fair
- 4) Not important

Comments. FTAs are a very important policy for the government of Colombia today. The interviewee considers that the FTAs are very important, above all, taking into account that the Andean Community did not work as expected.

- Do you think FTAs are more important than or as important as other measures for economic and export development such as financing schemes, subsidies, regulatory reforms, etc.? Please select only one from below.

- 1) FTAs are most important among other policy measures
- 2) **FTAs are important, but other measures are as important as FTAs**
- 3) FTAs are important, but other measures are more important than FTAs
- 4) *Other (please specify: **promotion of innovation, investment and promotion of infrastructure, regulations to improve competitiveness**)*

Comments. FTAs are important, however they are other policies that should be consider: promotion of innovation, investment and promotion of infrastructure, and regulations to improve competitiveness.

- What have been the most important criteria when selecting candidate for Colombia's FTA partners? Please choose one or more answers from below.

- 1) **Countries with currently large trade volume**
- 2) **Countries that are expected to increase investment in your country**
- 3) **Countries that have historically strong political and cultural ties**
- 4) Other (please specify:)

Comments. In 2000, COMPITE did a profound research to select Colombia's FTA partners. In this research all the points above mentioned (trade volume,

expectations of future investments, historical and political ties..) were analyzed. The research established the following list of ideal candidates of a FTA for Colombia:

- ✓ USA.
- ✓ In second place, European Union.
- ✓ In third place, Central America.
- ✓ Canada.
- ✓ Japan.

2. Purposes and evaluation of Colombia's FTAs

● What have been the major purposes of FTAs for Colombia?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

- ✓ Political purposes
 - 1) Improving diplomatic relations with FTA partners
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
 - 3) Other (please specify: **Improve political connections, established long term relations.**)

Comments. All the FTAs got a political purpose, however in the case of Colombia the purpose are mainly economical. It is important to say that for Colombia the FTAs are important because they got a "long term objective", FTAs can not be changed as easily as former ATPDEA for example.

- ✓ Economic purposes
 - 1) **Promoting trade and investment between the FTA partners**
 - 2) **Strengthening export competitiveness towards the outside regions**
 - 3) **Attracting more investment from the outside regions**
 - 4) Other (please specify:)

Comments. We consider that the main purpose of the Colombian FTAs is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...

- ✓ Other purposes
 - 1) Strengthening cultural ties with the FTA partners
 - 2) Other (please specify:)

Comments. We do not think that there are any other purposes.

3. FTAs with some specific partners

(1) FTA with the US

- What have been the major purposes for concluding an FTA with the US?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

1) Improving diplomatic relations with the US

2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries

3) *Other (please specify: to establish a long term relation with the USA in the same political level, long term relation SEE COMMENTS BELOW)*

✓ Economic purposes

1) *Promoting export to the US*

2) *Attracting more investment from the US*

3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*

4) *Attracting more investment from the outside regions*

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with the US

2) Other (please specify:)

Comments. From a political point of view, it is true that Colombia has been receiving a huge amount of aid from the USA, Colombia was just a mere receiver of the money and aid from USA (through some schemes as the Colombia Plan). But the FTA with the USA is a very significant change in the relation between Colombia and USA. Colombia has finalized a very comprehensive agreement with the USA in the same political level.

However, we think that the main purpose of this agreement is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...

(2) FTA with EU

- What are the major purposes for negotiating an FTA with EU

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

- ✓ Political purposes
 - 1) Improving diplomatic relations with EU
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
 - 3) *Other (please specify: to try to change the image of Colombia in Europe, to “put Colombia in the agenda of Europe” and improve the image of Colombia (not only drug producer and terrorism related country but a modern and advanced society)*

- ✓ Economic purposes
 - 1) *Promoting export to EU*
 - 2) *Attracting more investment from EU*
 - 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
 - 4) *Attracting more investment from the outside regions*
 - 5) Other (please specify:)

- ✓ Other purposes
 - 1) Strengthening cultural ties with Chile
 - 2) Other (please specify:)

Comments. The main purpose of this FTA is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade...

4. Expectations for Japan-Colombia Economic Partnership Agreement (EPA)

(1) What do you expect most from Japan-Colombia EPA?

Please choose one or more answers specified below. You may choose as many answers as you want.

- ✓ Political effects
 - 1) Improving diplomatic relations with Japan
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
 - 3) *Other (please specify: to try to improve the position of Colombia in Asia, to be a partner of Japan inside APEC)*

- ✓ Economic effects
 - 1) *Promoting export to Japan*
 - 2) *Promoting investment from Japan*
 - 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*

4) *Attracting more investment from the outside regions*

5) Other (please specify:)

✓ Other purposes

1) Strengthening cultural ties with Japan

2) Other (please specify:)

Comments. The main purpose of this future agreement is to improve the economical relations between Colombia and Japan. However there are some political aspects that could not be denied, such as, the desire of Colombia of improving its political strength in Asia, and to be a partner of Japan inside APEC.

The interviewee consider that the future economic agreement between Japan and Colombia will be very profitable for both parts, because they have, commercially speaking, complementary goods. The two countries do not compete in terms of goods production.

OTHER QUESTIONS.

Opposition in Colombia to FTAs.

Comments. In Colombia the great majority of the population is in favor of FTAs as a good policy to create employment and assure welfare.

The figures are: 50% of the population of Colombia considers FTAs as beneficial. Only 30% oppose the FTAs.

6. コロンビア高等教育・開発基金 (FEDESARROLLO: Fundación para la Educación Superior y el Desarrollo)

1. Colombia's position on FTAs

- How do you see the importance of FTAs as Colombia's trade and foreign policy? Please select only one from below.

1) **Very important**

2) Important

3) Fair

4) Not important

Comments. FTAs are a top priority for the government of Colombia nowadays. However, historically speaking there has been a changeable point of view towards FTAs from the Colombian government.

- *Until 1990, the government of Colombia was very closed to FT, and set up a lot of protectionist laws.*
- *President Gaviria in the 90s tried to promote FT (creating the Andean Community, the G3 (between Mexico, Venezuela and Colombia), and promoting the ATDA with USA...)*
- *The president Samper in 1994 gave a big turn to these FT promoting policies, coming back to former protectionism.*
- *In 1998, the new president Pastrana tried to promote some measures to foster FT in Colombia; however, the complicated political situation in Colombia did not allow the implementation of any important change.*
- *In 2002, Uribe came into power. At the beginning of his government, he did not take serious steps to promote FT, however from 2004 he has been very active trying to finalize different FTAs (basically with the USA).*
- *Today, FTAs are a top priority for the government of Colombia.*

- Do you think FTAs are more important than or as important as other measures for economic and export development such as financing schemes, subsidies, regulatory reforms, etc.? Please select only one from below.

1) FTAs are most important among other policy measures

2) **FTAs are important, but other measures are as important as FTAs**

3) FTAs are important, but other measures are more important than FTAs

4) Other (please specify:)

Comments. It is difficult to answer this point. FTAs are important, however nowadays the most important policies for the government are connected to social issues, security and employment.

- What have been the most important criteria when selecting candidate for Colombia's FTA partners? Please choose one or more answers from below.
 - 1) **Countries with currently large trade volume**
 - 2) **Countries that are expected to increase investment in your country**
 - 3) Countries that have historically strong political and cultural ties
 - 4) *Other (please specify: **political interest of Colombia, willingness of the country to be a partner of Colombia**)*

Comments. According to the interviewee the most important criterion when selecting a FTA candidate for Colombia is the willingness of that country to be a trade partner of Colombia. When in the 90s, president Gaviria intended to conclude trade agreements with other countries, not EU, neither USA showed any real interest in having a FTA with Colombia (however, USA granted the ATDA, but not a FTA).

2. Purposes and evaluation of Colombia's FTAs

- What have been the major purposes of FTAs for Colombia?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

 - ✓ Political purposes
 - 1) Improving diplomatic relations with FTA partners
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
 - 3) *Other (please specify: **interest of Colombia in new regions**).*
 - ✓ Economic purposes
 - 1) **Promoting trade and investment between the FTA partners**
 - 2) **Strengthening export competitiveness towards the outside regions**
 - 3) **Attracting more investment from the outside regions**
 - 4) Other (please specify:)
 - ✓ Other purposes
 - 1) Strengthening cultural ties with the FTA partners
 - 2) *Other (please specify: **environmental issues**)*

Comments. We consider that the main purpose of the Colombian FTAs is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade... Of course there are other aspects to be considered, such as, the interest of Colombia in open Colombia to new regions, and some aspects of environmental protection... but the FTA got a purpose mainly economical.

3. FTAs with some specific partners

(1) FTA with the US

- What have been the major purposes for concluding an FTA with the US?

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

✓ Political purposes

- 1) Improving diplomatic relations with the US
- 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
- 3) *Other (please specify: to establish a long term relation with the USA)*

✓ Economic purposes

- 1) *Promoting export to the US (40 % of Colombian exports go to USA).*
- 2) *Attracting more investment from the US*
- 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
- 4) *Attracting more investment from the outside regions*
- 5) *Other (please specify: attracting investments from other countries, some enterprises will established a permanent office in Colombia in order to export to USA)*

✓ Other purposes

- 1) Strengthening cultural ties with the US
- 2) *Other (please specify: Drug traffic, drug crop reduction, terrorism,)*

Comments. For the interviewee the main purpose of this agreement is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade... There are some political considerations, but there are no really significant.

(2) FTA with EU

- What are the major purposes for negotiating an FTA with EU

Please choose one or more purposes specified below. You may choose as many purposes as you want.

- ✓ Political purposes
 - 1) Improving diplomatic relations with EU
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
 - 3) *Other (please specify: to establish a long term relation with the EU, to change the image of Colombia in Europe, to fight against the support in Europe to FARC)*

- ✓ Economic purposes
 - 1) *Promoting export to EU*
 - 2) *Attracting more investment from EU*
 - 3) *Strengthening export competitiveness towards the outside regions*
 - 4) *Attracting more investment from the outside regions*
 - 5) Other (please specify:)

- ✓ Other purposes
 - 1) Strengthening cultural ties with Chile
 - 2) Other (please specify:)

Comments. The main purpose of this FTA is economical: promoting investments, improve competitiveness, improve exports and trade... However, in the case of Europe, there are strong political implications for the government of Colombia, basically, Uribe pretends to change the bad image of Colombia in Europe and terminate with the support to FARC in Europe.

4. Expectations for Japan-Colombia Economic Partnership Agreement (EPA)

(1) What do you expect most from Japan-Colombia EPA?

Please choose one or more answers specified below. You may choose as many answers as you want.

- ✓ Political effects
 - 1) Improving diplomatic relations with Japan
 - 2) Strengthening diplomatic leverage vis-à-vis external countries
 - 3) *Other (please specify: Colombia's interest in Asia...)*

- ✓ Economic effects
 - 1) Promoting export to Japan
 - 2) *Promoting investment from Japan*

- 3) Strengthening export competitiveness towards the outside regions
 - 4) Attracting more investment from the outside regions
 - 5) Other (please specify: _____)
- ✓ Other purposes
- 1) Strengthening cultural ties with Japan
 - 2) Other (please specify: **cooperation**, _____)

Comments. *To the interviewee the EPA will boost investments of Japan in Colombia (this is the main expectation). In a second place, there are some geopolitical considerations (interest of Colombia in Asia) and some aspects of cooperation.*

OTHER QUESTIONS.

Opposition in Colombia to FTAs.

Comments. *In Colombia the great majority of the population is in favor of FTAs as a good policy to create employment and assure welfare. In some agricultural areas there is some opposition to FTAs.*